

橋梁位置図 S=1:50000
船津橋

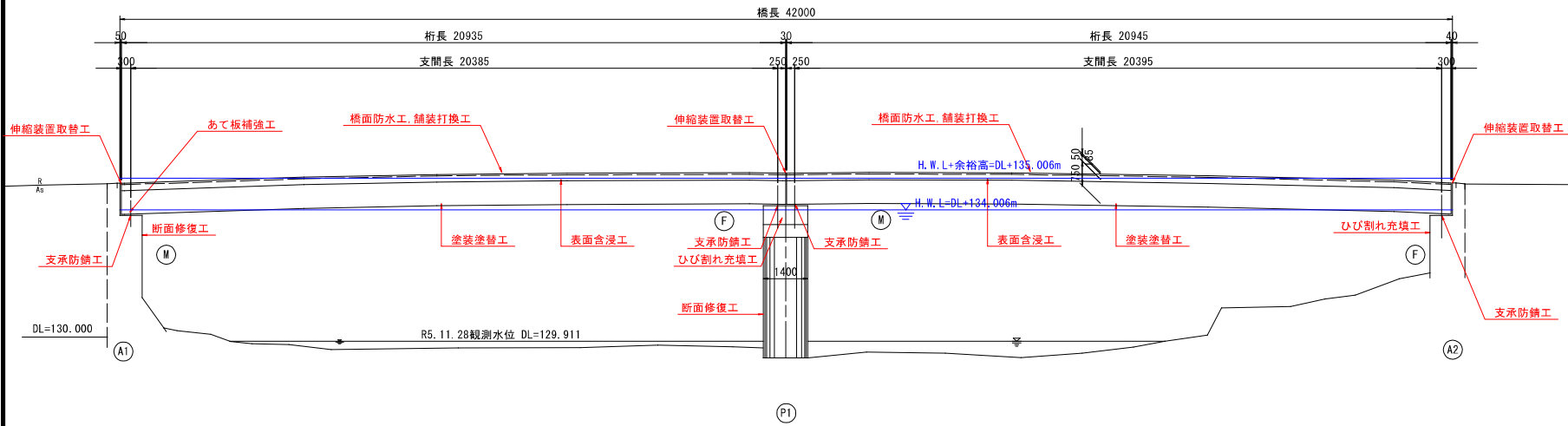


【船津橋】			
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海陽郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:50000	図面番号	1 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

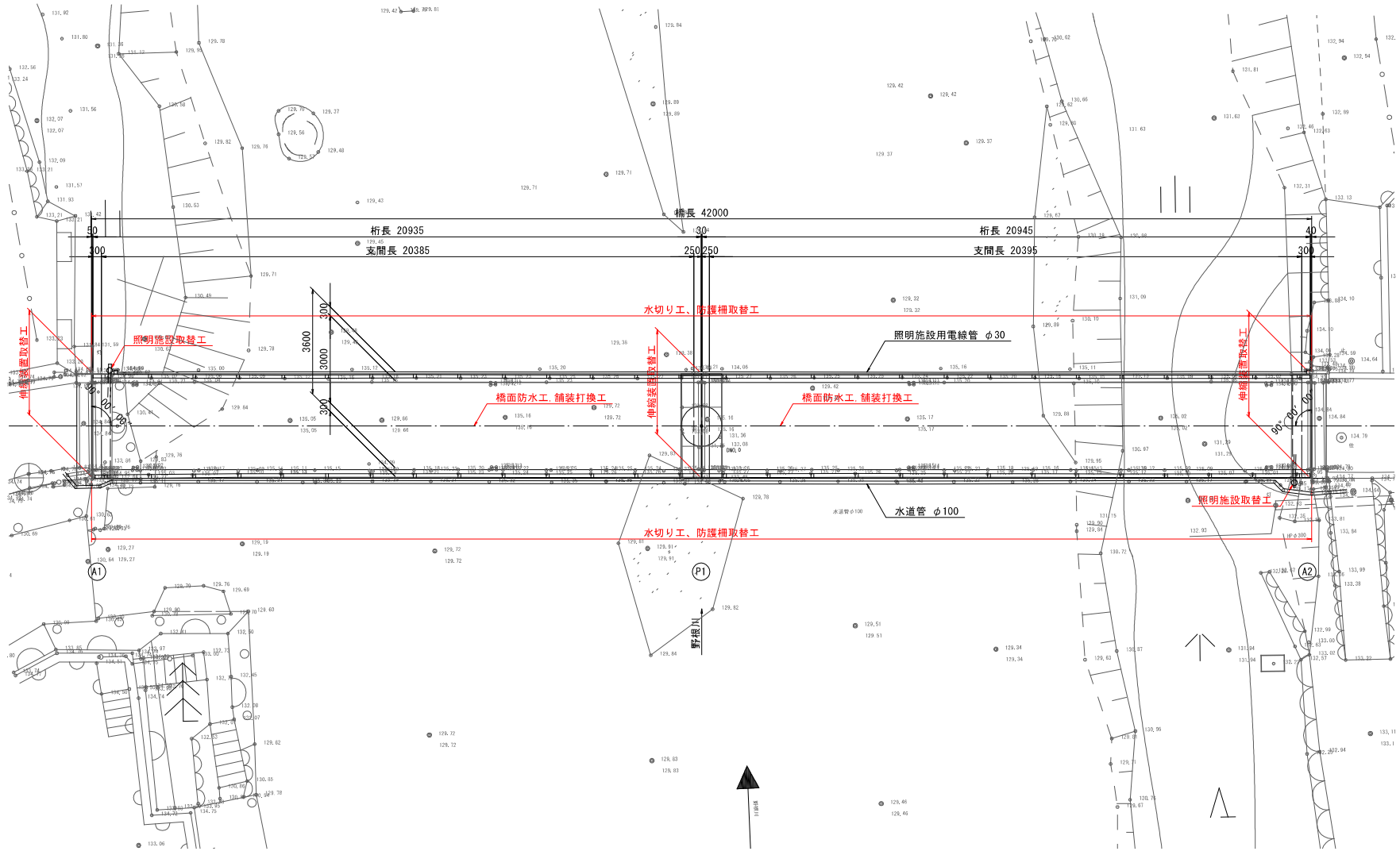
出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

補修一般図 S=1:100
船津橋

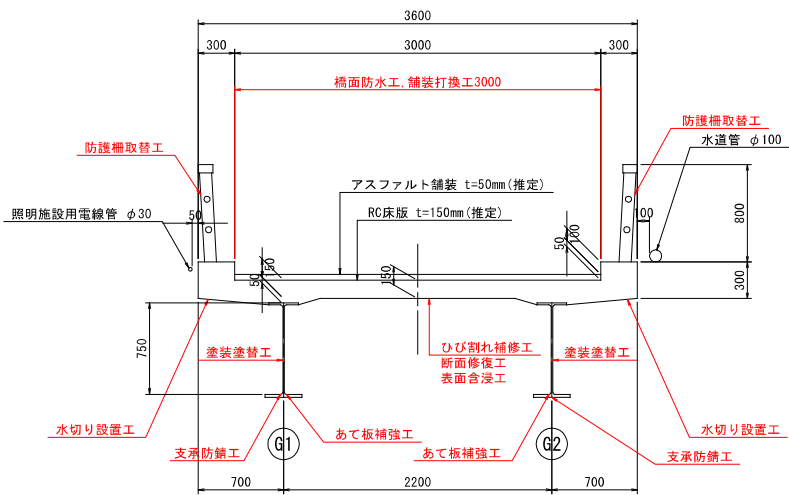
側面図



平面図

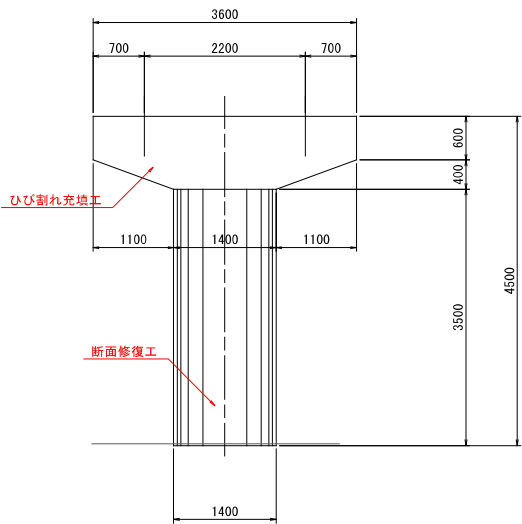


上部工断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50

P1橋脚



【橋梁諸元】

項目	諸元	上部工形式	非合成1桁橋
橋梁名称	船津橋	逆T式橋台(A1、A2、※推定)T型橋脚(柱小判型)(P1、※推定)	
所在地	(自)徳島県海部郡海陽町船津字船津 (至)徳島県海部郡海陽町船津字船津	基礎工形式 設計荷重	直接基礎(A1、P1、A2、※推定) 二等橋(※推定)
路線名	船津宮前線	適用示方書	昭和39年
管轄	徳島県海部郡海陽町	架設年度	1971年(架設後52年経過)
橋長	42.0m	交差物件	野根川(徳島県)
径間数	2径間	添架物	照明施設用電線管1条、水道管1条
幅員	全幅:3.6m、有効幅員:3.0m 地覆0.30m+車道3.00m+地覆0.30m	緊急輸送路の指定	無し
		補修履歴 (点検履歴)	2016年:定期点検 2021年:定期点検

【補修工法一覧表】

項目	補修工法	対象部材	備考
上部工補修設計	ひび割れ注入工	床版	判定II
	ひび割れ充てん工	床版	判定II
	断面修復工	床版	判定II
	表面含浸工	床版、地覆、P1橋脚	中性化対策
	水切り工	床版	予防保全
上部工補強設計	あて板補強工	主桁	判定III
下部工補修設計	ひび割れ充てん工	P1橋脚、A2橋台	判定II(P1橋脚)
	断面修復工	A1橋台、P1橋脚	判定II
鋼橋塗装設計	塗装塗替工	主桁、横桁	判定II、鉛含む
伸縮装置補修設計	伸縮装置取替工	A1、A2橋台、P1橋脚上	予防保全
支承防錆設計	塗装塗替工	支承	判定III
高欄・防護柵取替え設計	高欄・防護柵取替工	防護柵	判定II
橋面防水工設計	橋面防水工、舗装打換工	橋面	予防保全
その他設計	照明施設取替工	照明施設	判定III

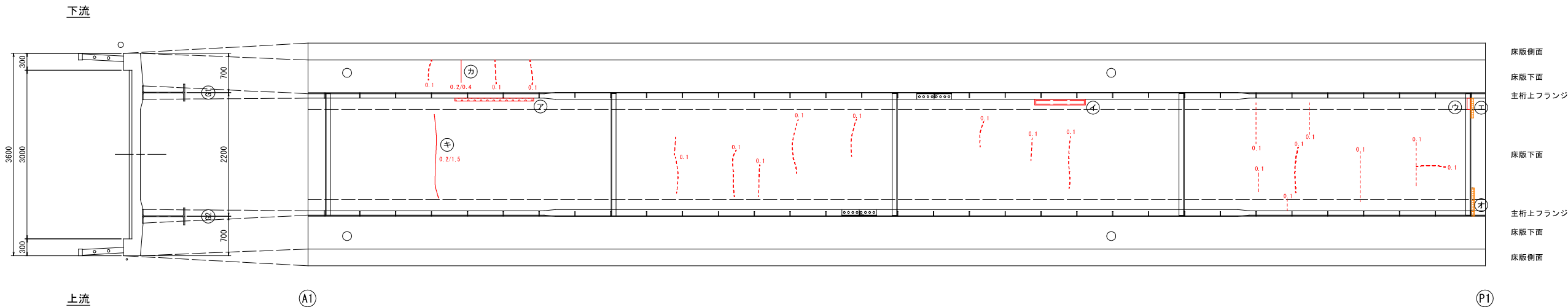
【船津橋】

工事名	令和7年度 船津橋補修工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	補修一般図
縮尺	1:100 図面番号 2 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

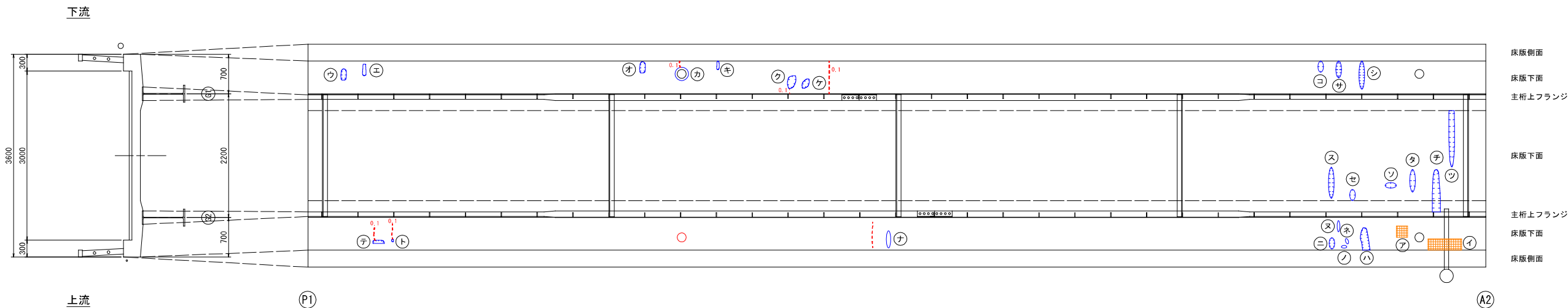
(上部工)RC部材補修詳細図 S=1:40

断面修復工, ひびわれ注入工法

(第1径間) 桁下面



(第2径間) 桁下面



第1径間 断面修復工									
部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]		
床版0201	ア	豆板	1400	50	30	0.0700	0.0021		
床版0203	イ	剥離	900	100	30	0.0900	0.0027		
支承0102	ウ	欠損	350	50	30	0.0175	0.0005		
支承0102	エ	うき	350	50	30	0.0175	0.0005		
支承0202	オ	うき	500	50	30	0.0250	0.0008		

ひびわれ注入工法 (ひびわれ)				
部材	No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	延長 L [m]
床版0101	カ	0.20	400	0.40
床版0201	キ	0.20	1500	1.50

※支承部は寄座モルタル厚さを補修深さとし、30mmとした。

第2径間 断面修復工									
部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]		
床版0201	ア	うき	200	200	80	0.0400	0.0032		
床版0201	イ	うき	600	200	80	0.1200	0.0096		

ひびわれ充てん工法 (遊離石灰)					
部材	No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	延長 L [m]	
床版0101	ウ	1.00	200	0.20	
床版0101	エ	1.00	200	0.20	
床版0101	オ	1.00	200	0.20	
床版0101	カ	1.00	750	0.75	
床版0101	キ	1.00	150	0.15	
床版0101	ク	1.00	250	0.25	
床版0101	ケ	1.00	200	0.20	
床版0101	コ	1.00	200	0.20	
床版0101	サ	1.00	300	0.30	
床版0101	シ	1.00	500	0.50	
床版0204	ス	1.00	550	0.55	
床版0204	セ	1.00	200	0.20	
床版0204	ソ	1.00	200	0.20	
床版0204	タ	1.00	400	0.40	
床版0204	チ	1.00	750	0.75	
床版0204	ツ	1.00	1000	1.00	
床版0301	テ	1.00	200	0.20	
床版0301	ト	1.00	50	0.05	
床版0301	ナ	1.00	300	0.30	
床版0301	ニ	1.00	200	0.20	
床版0301	ネ	1.00	200	0.20	
床版0301	ノ	1.00	100	0.10	
床版0301	ハ	1.00	400	0.40	

《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡 例	
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

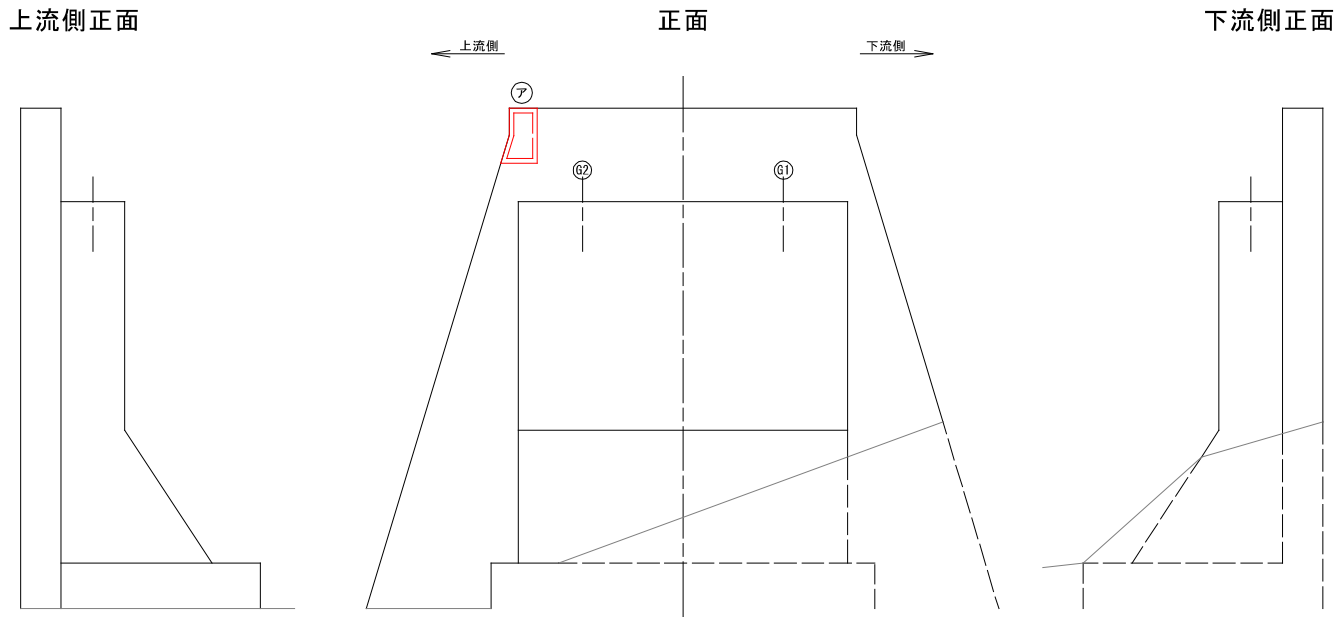
《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的には0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
注) 遊離石灰により、注入が困難な場合はVカット工法 (もしくはVカット工法) で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

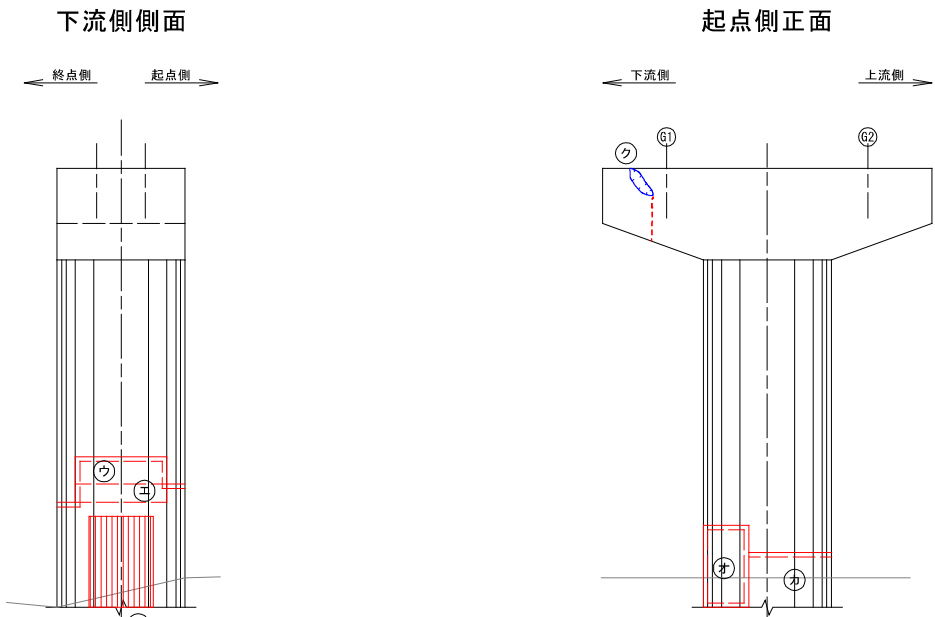
【船津橋】	
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津 (船津橋)
図面名	(上部工)RC部材補修詳細図
縮尺	1:40 図面番号 3 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

(下部工)RC部材補修詳細図 S=1:40

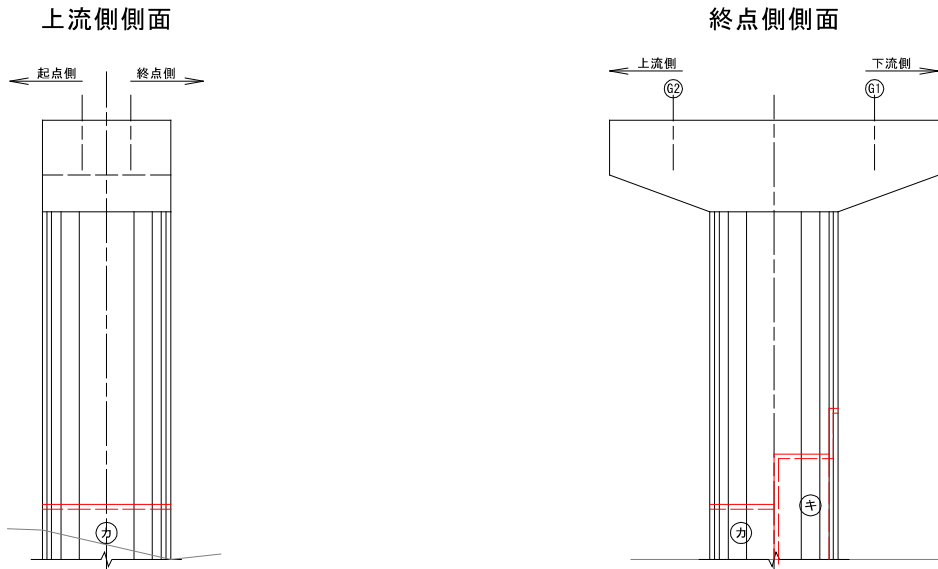
(第1径間)A1橋台下部工



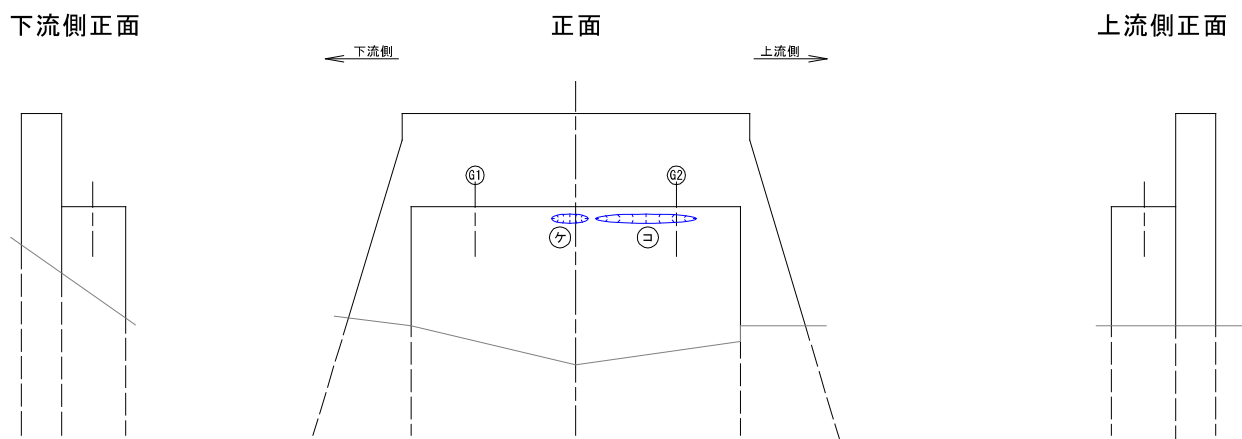
(第1径間)P1橋脚下部工



(第2径間)P1橋脚下部工



(第2径間)A2橋台下部工



《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要検査の上で補修すること。
注) 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋込による充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

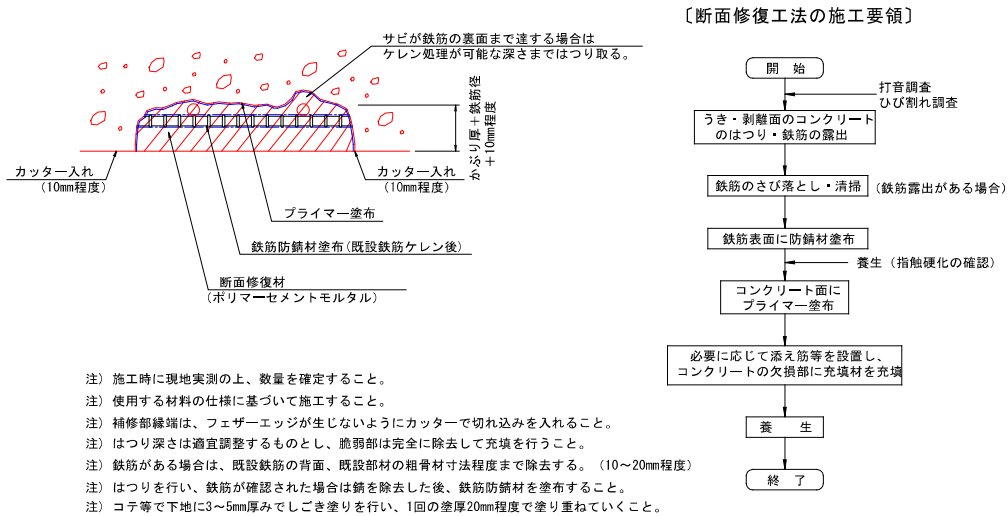
断面修復工							
部材	No.	種別	幅 W	延長 L	深さ t	面積 A	体積 V
			(mm)	(mm)	(mm)	(m ²)	(m ³)
橋台[胸壁]0101	ア	剥離	600	400	30	0.2400	0.0072
橋脚[柱部・壁部]0101	イ	鉄筋露出	700	1000	130	0.7000	0.0910
橋脚[柱部・壁部]0101	ウ	すりへり	1000	300	30	0.3000	0.0090
橋脚[柱部・壁部]0101	エ	すりへり	1000	200	30	0.2000	0.0060
橋脚[柱部・壁部]0101	オ	すりへり	500	900	30	0.4500	0.0135
橋脚[柱部・壁部]0101	カ	すりへり	1150	600	30	0.6900	0.0207
橋脚[柱部・壁部]0101	キ	すりへり	2200	600	30	1.3200	0.0396

ひびわれ充てん工法(遊離石灰)				
部材	No.	幅 W	延長 L	延長 L
		(mm)	(mm)	(m)
橋脚[梁部]0101	ク	1.00	300	0.30
橋台[壁部]0102	ケ	1.00	400	0.40
橋台[壁部]0102	コ	1.00	1100	1.10

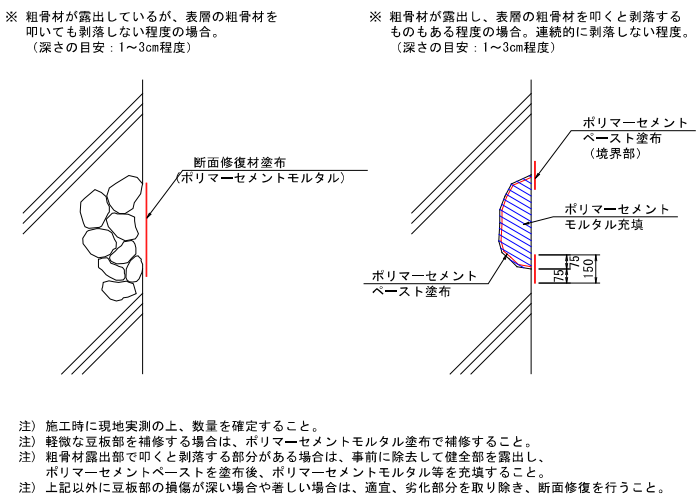
【船津橋】	
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	(下部工)RC部材補修詳細図
縮尺	1:40 図面番号 4 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

(共通工)RC部材補修詳細図(その1)
断面修復工, ひわれ注入工, ひびわれ充填てん工 詳細図

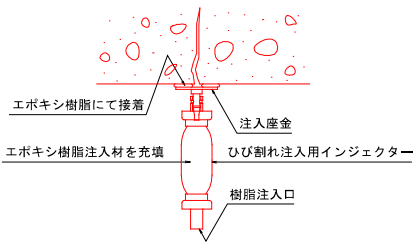
断面修復工詳細図



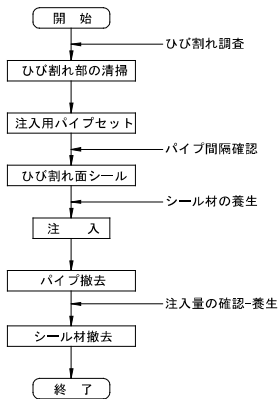
豆板修復工(参考図)



ひびわれ注入工詳細図

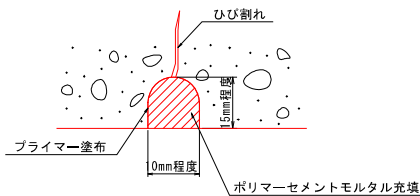


〔ひび割れ注入工法の施工要領〕

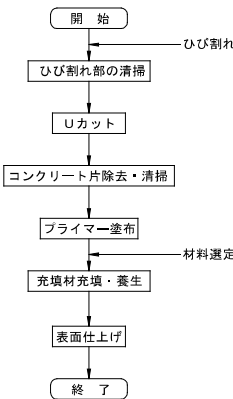


ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)



〔Uカット工法の施工要領〕

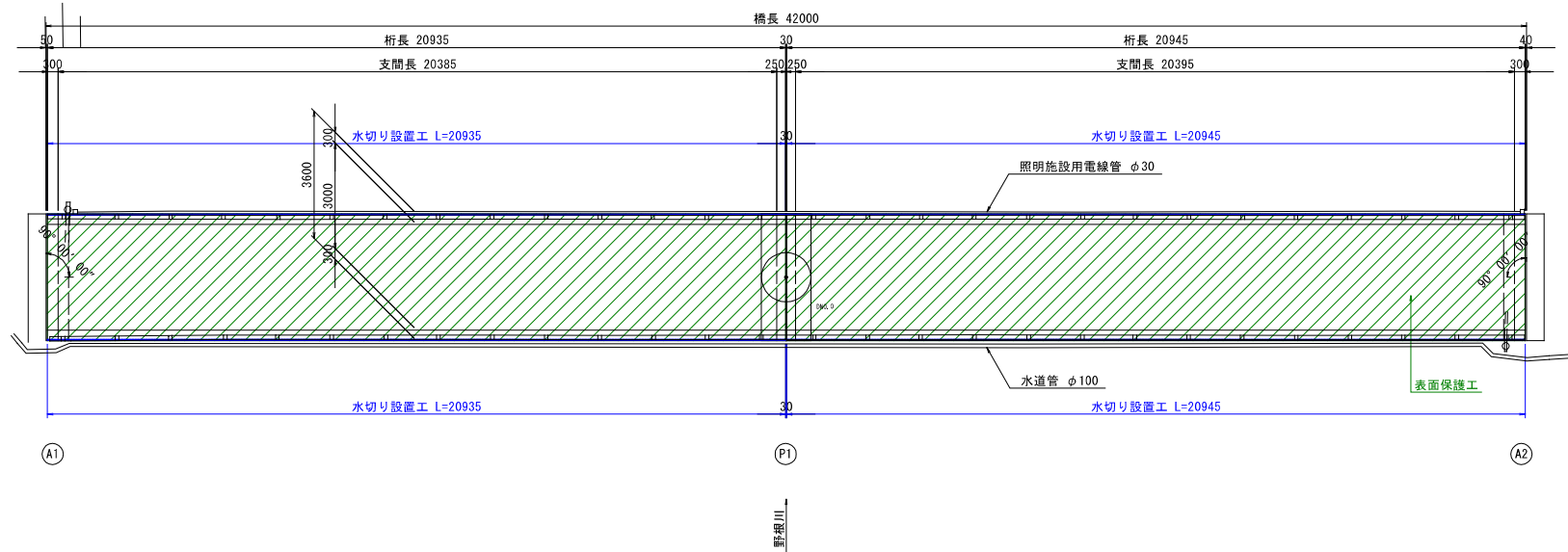


【船津橋】

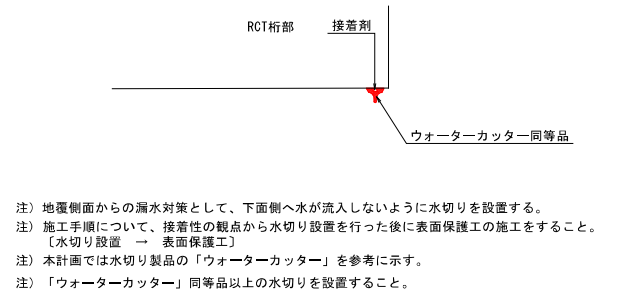
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	(共通工)RC部材補修詳細図		
縮尺	—	図面番号	5 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

(共通工)RC部材補修詳細図(その2)
表面保護工, 水切り工

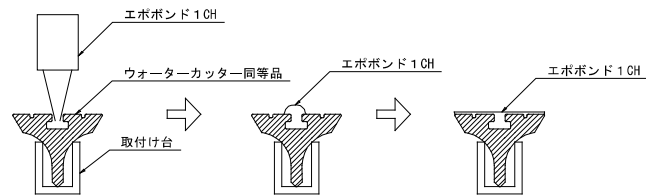
平面図 S=1:100



水切り設置詳細図



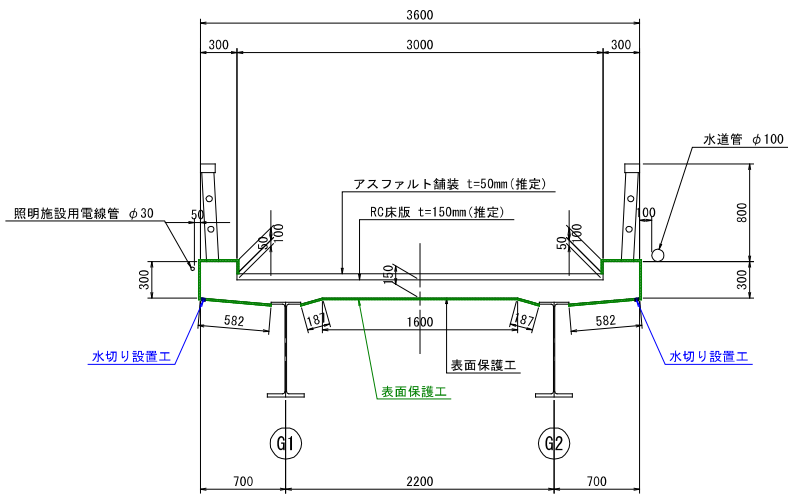
橋梁桁端部水切り材



材料表

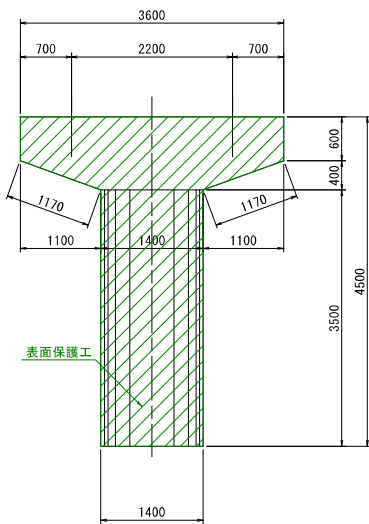
名 称	寸 法	重 量	材 質
ウォーターカッター同等品	W25×H20×L1000	80g/m	EPDMゴムスポンジ(ライトグレー)

RCT桁断面図 S=1:30

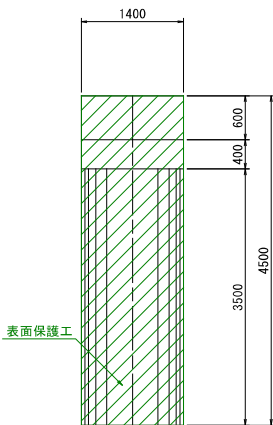


下部工構造図 S=1:50

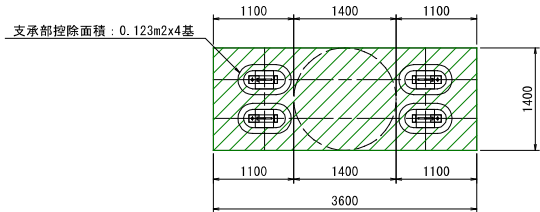
P1橋脚正面図



P1橋脚側面図



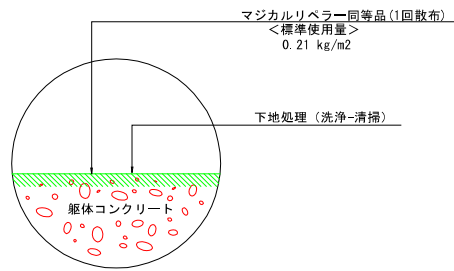
P1橋脚平面図



表面含浸工詳細図

(シラン・シロキサン系表面含浸材)

【対象: 桁下面, P1橋脚】

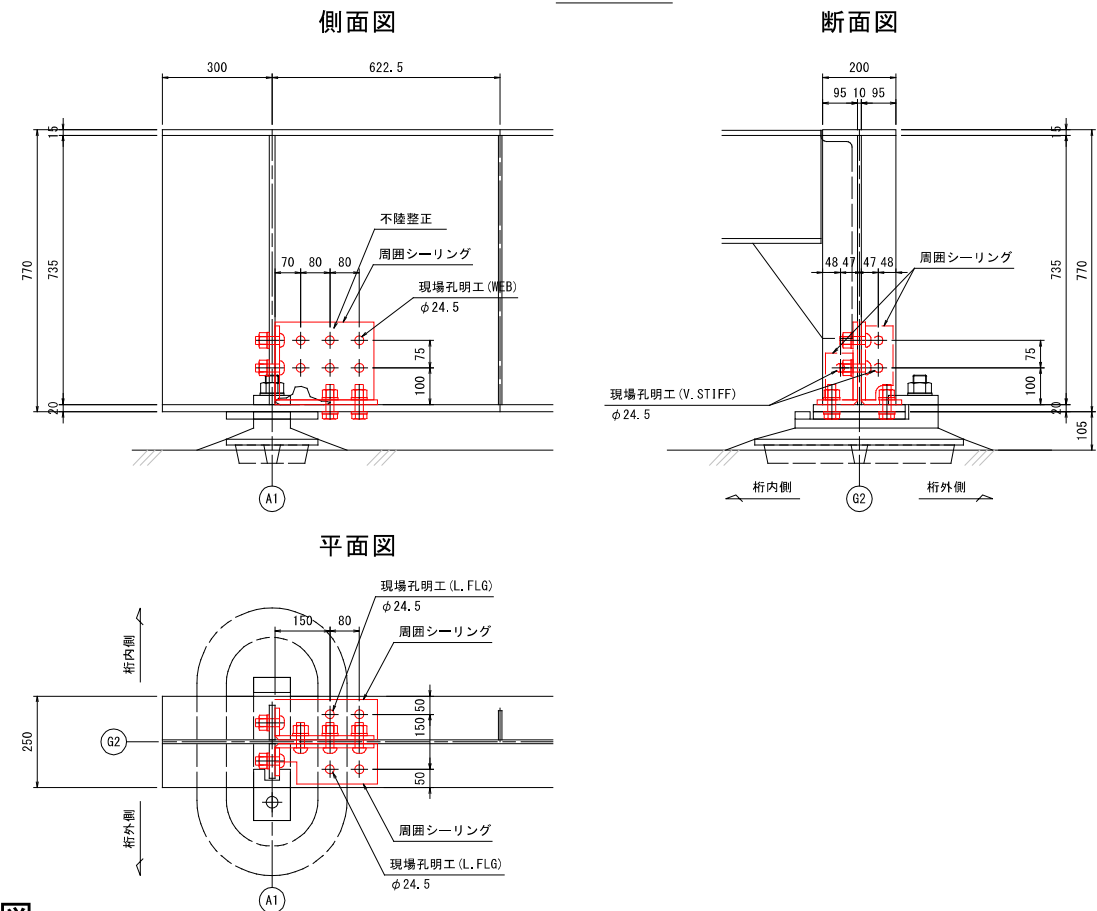


※下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては高圧洗浄やディスクサンダーゲレンによって除去・清掃すること。
※含浸工は、「マジカルリペラー」を参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※マジカルリペラーはm2当たり0.21kgの1回散布とする。

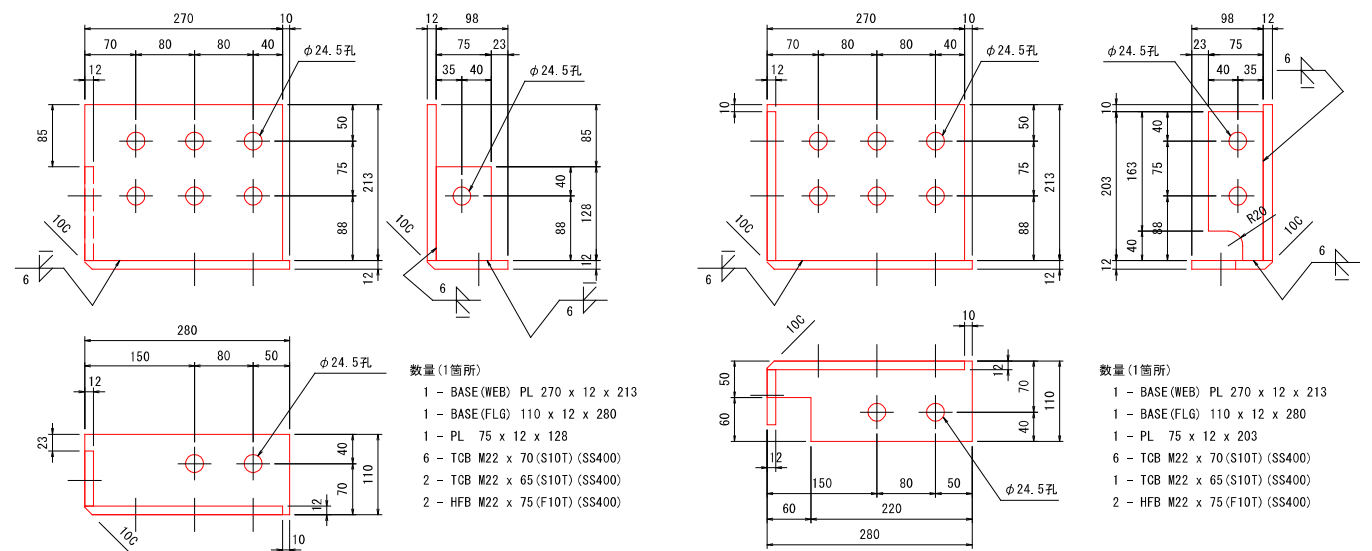
【船津橋】

工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	(共通工)RC部材補修詳細図(その2)
縮尺	図示 図面番号 6 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

A1G2桁



A1G2外側

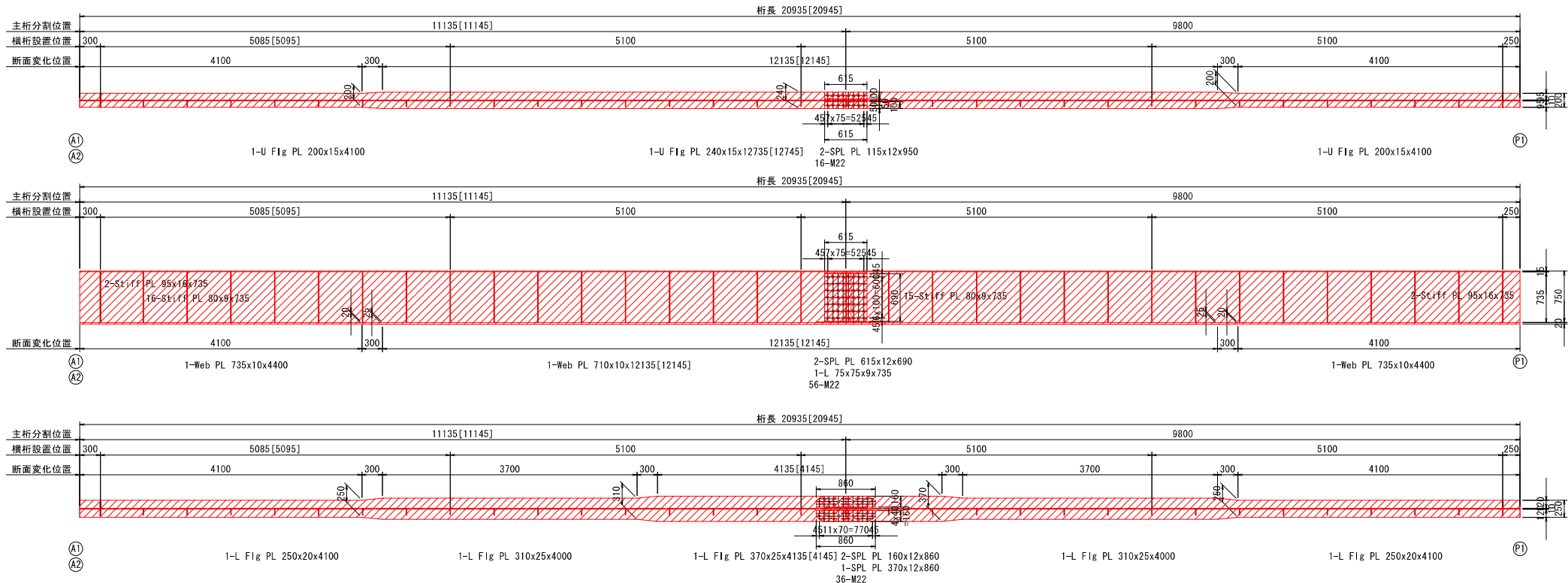
[illegible]

1. 補修箇所、補修範囲及び補修数量は現場実測確認の上決定のこと。
2. 鋼材加工及び取付位置は現場実測確認の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

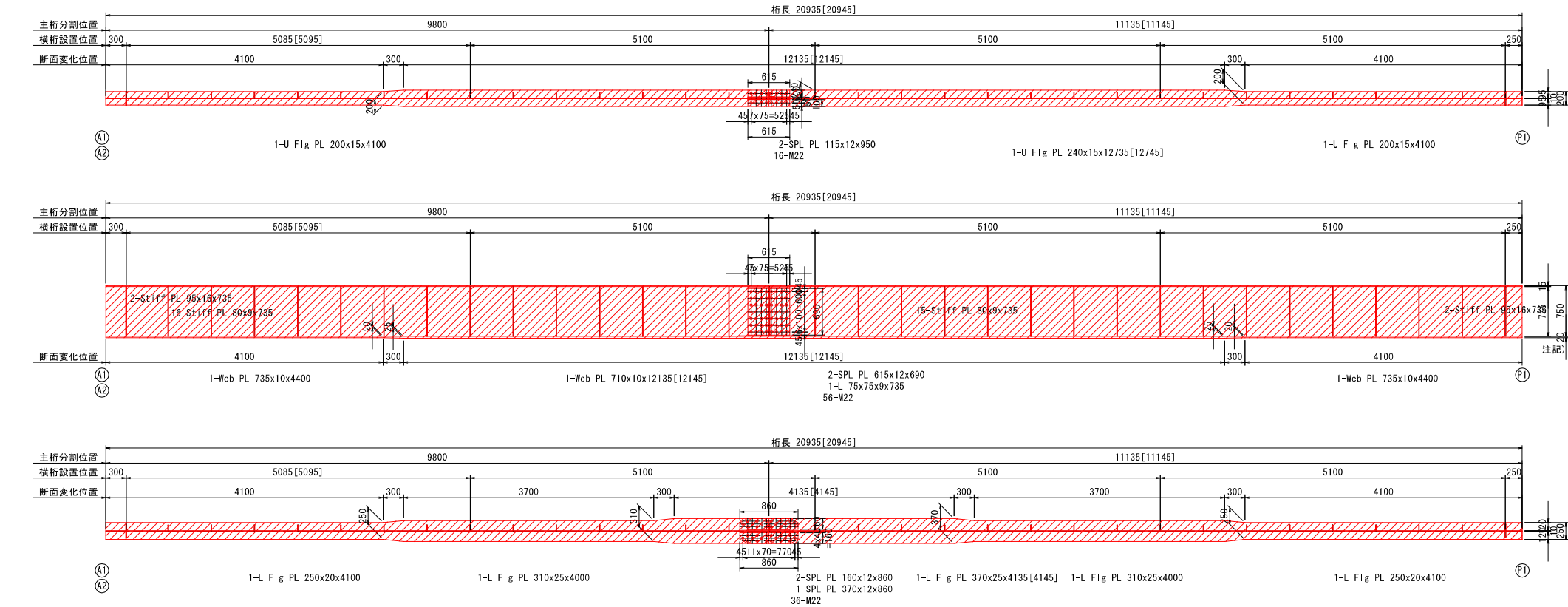
【船津橋】			
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	あて板補強工詳細図		
縮尺	1:10	図面番号	7 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

塗装塗替工詳細図(その1) S=1:100

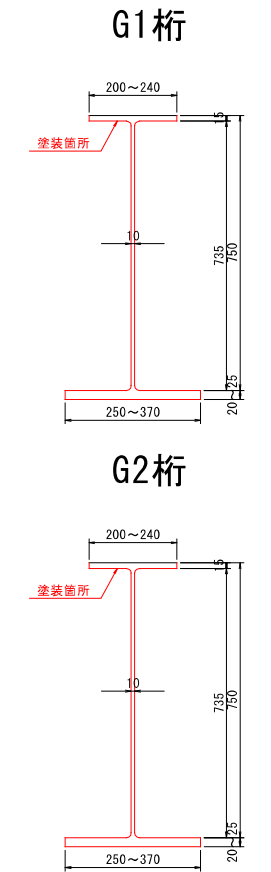
G1主桁詳細図



G2主桁詳細図



主桁断面図 S=1:5

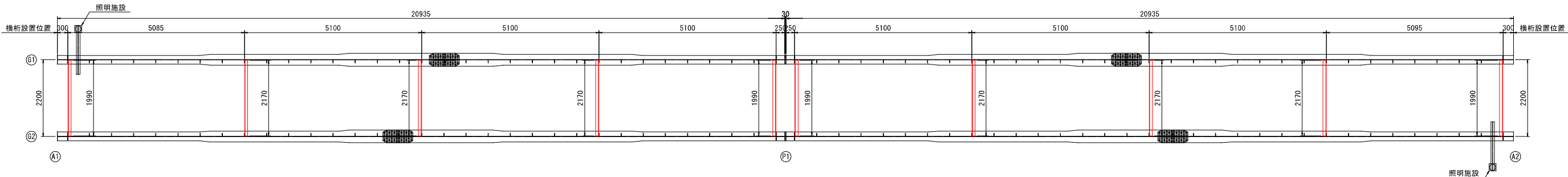


- 補修箇所、補修範囲及び補修数量は現場実測確認の上決定のこと。
- 鋼材加工及び取付位置は現場実測確認の上決定のこと。

【船津橋】			
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	塗装塗替工詳細図(その1)		
縮尺	1:100	図面番号	8 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

塗装塗替工詳細図(その2) S=1:60

横桁配置図

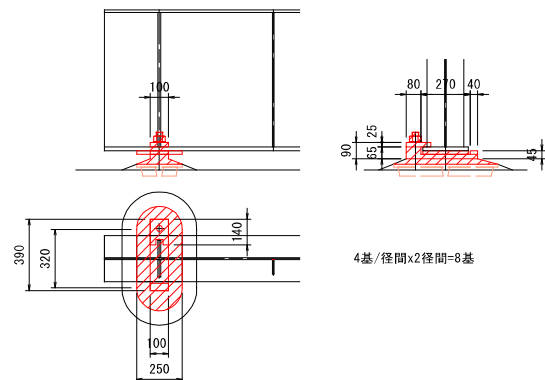
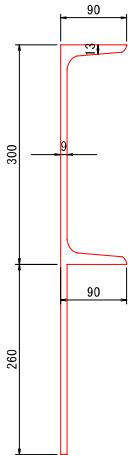
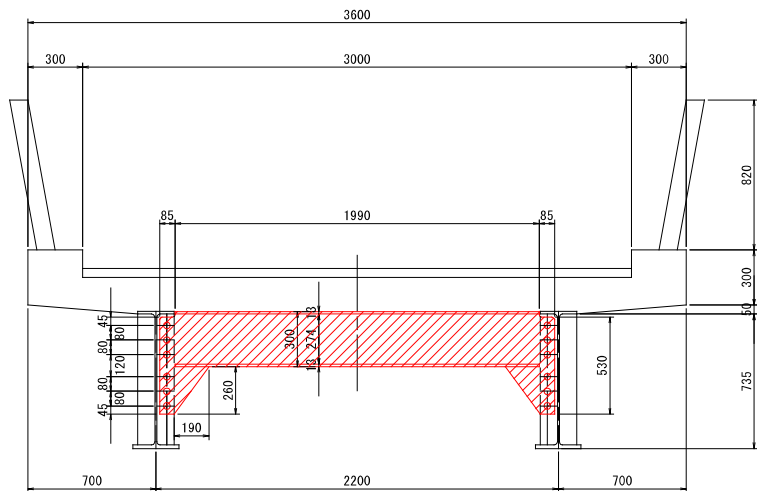


横桁詳細図

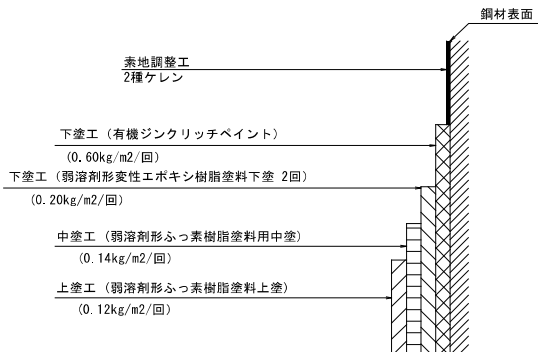
支承詳細図 S=1:20

端横桁詳細図 S=1:20

端横桁断面図 S=1:5



塗装塗替要領

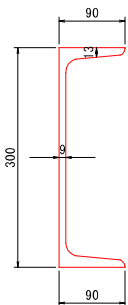
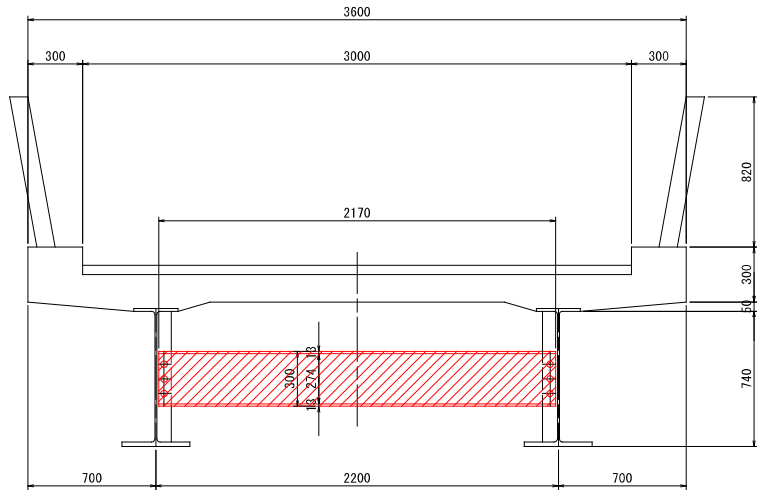


仕様一覧 (Rc-I工塗装系)			
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	(600)	1日～10日
下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中 塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上 塗	弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

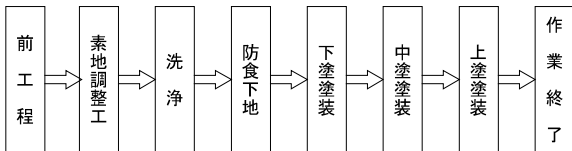
※鋼部材の塗装塗替は、「鋼道路橋防食便覧」に基づき行うこと。
※()の使用量について、塗膜剥離剤を使用した場合には旧都環は全面除去されるものとし、有機ジンクリッチペイントの使用量を600g/m²としている。

中間横桁詳細図 S=1:20

中間横桁断面図 S=1:5



塗替塗装工フロー図



塗装面積表

	塗装面積 (m ²)	備 考
主桁	213.54	垂直補剛材含む
横桁	15.86	
ボルト	6.00	
支承	1.12	
合計	236.52	

【船津橋】

工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	塗装塗替工詳細図(その2)		
縮尺	1:60	図面番号	9 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

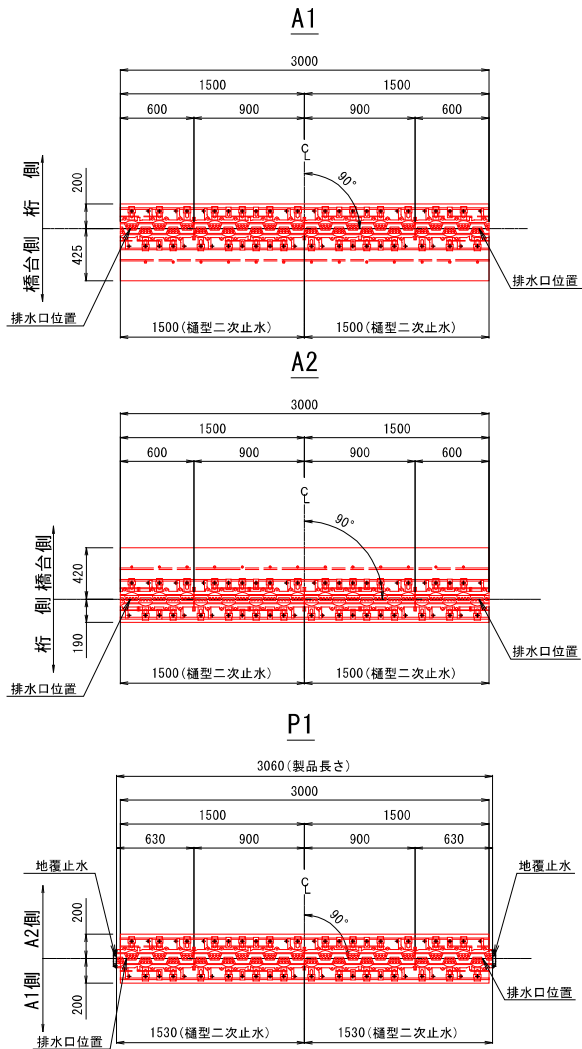
- 補修箇所、補修範囲及び補修数量は現場実測確認の上決定のこと。
- 鋼材加工及び取付位置は現場実測確認の上決定のこと。

伸縮装置取替工詳細図

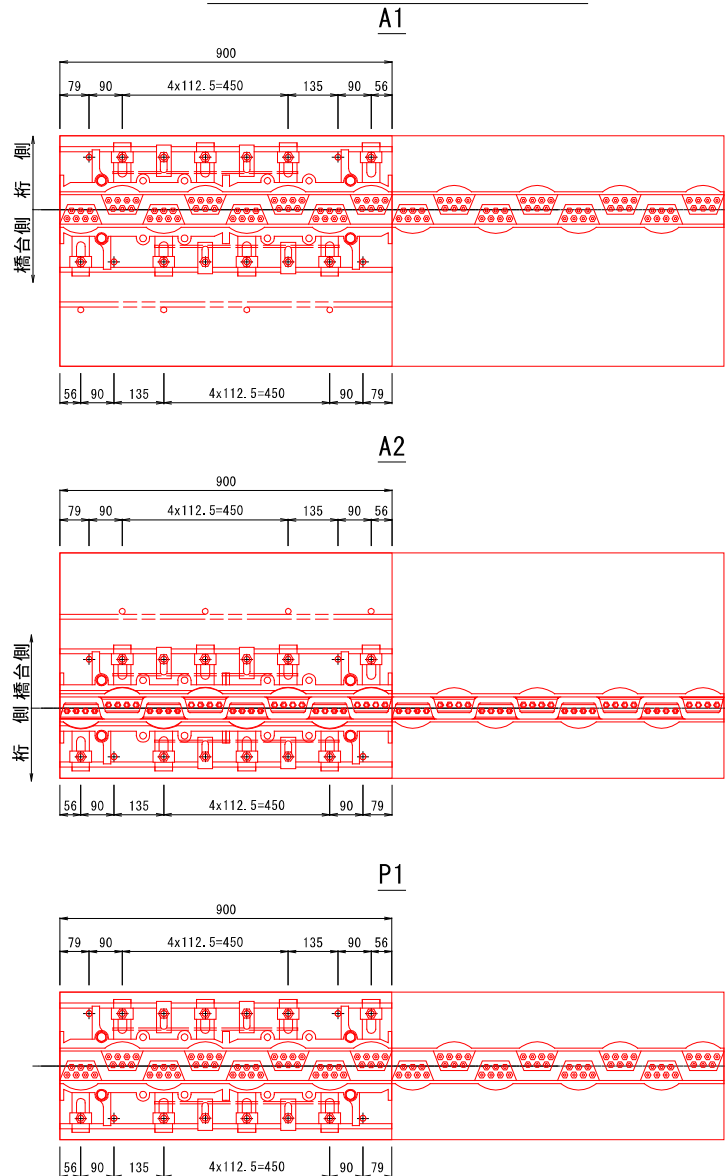
船津橋

A1, A2, P1(車道部)

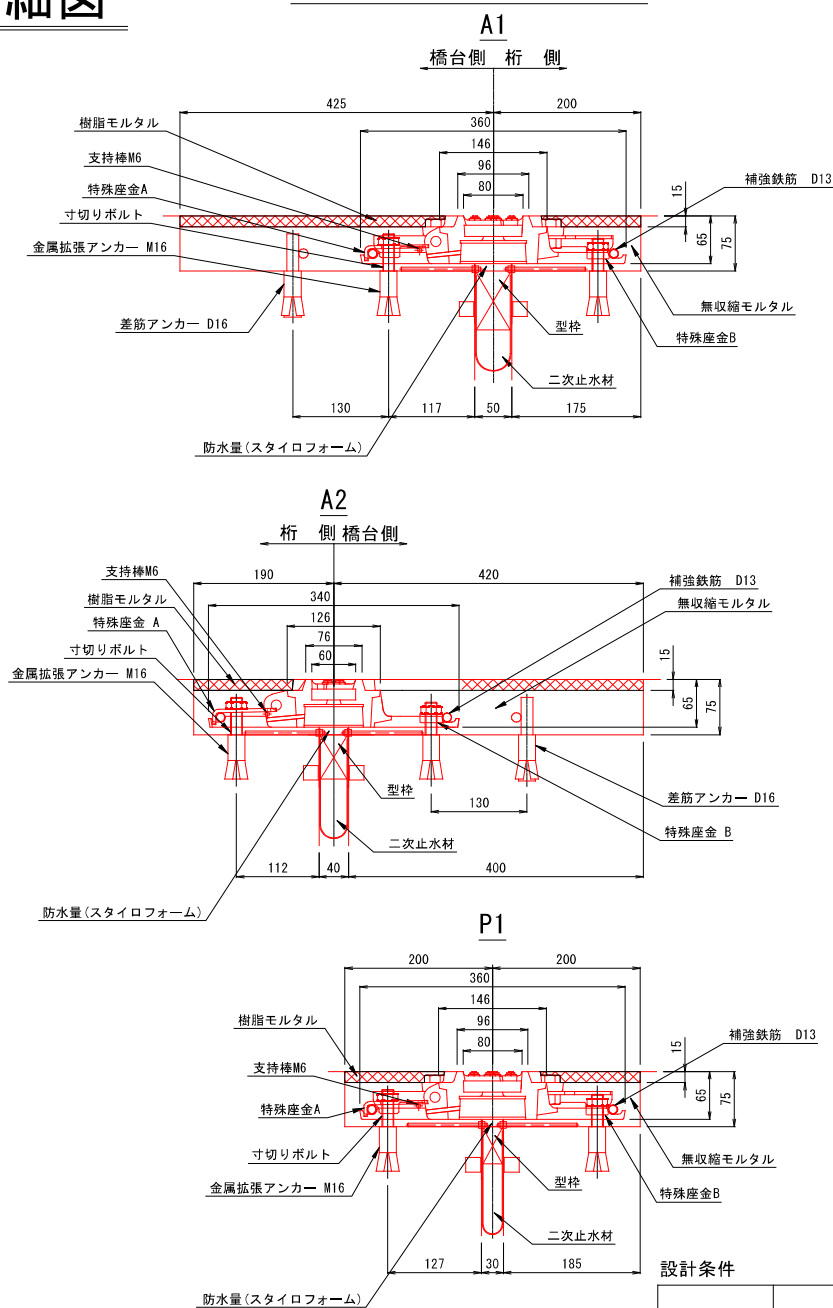
配置図 S=1:30



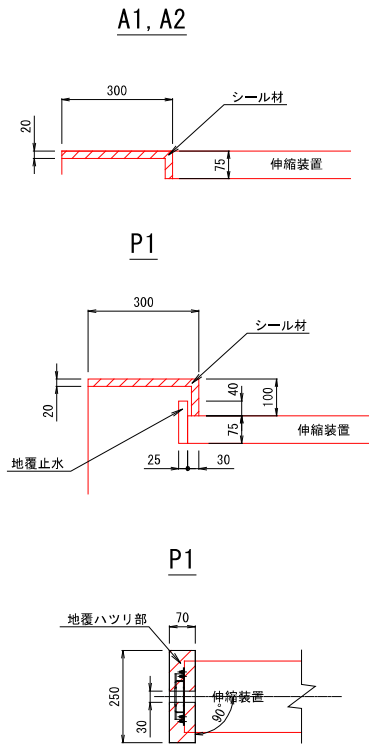
標準取付平面図 S=1:10



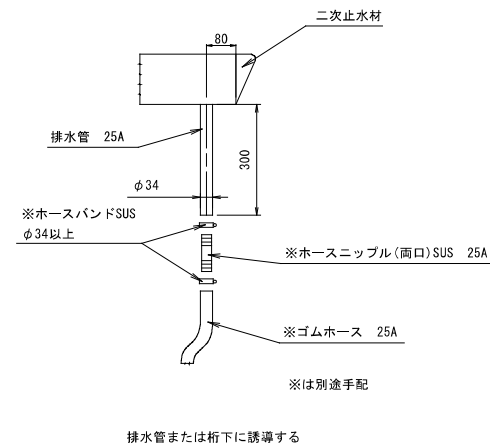
標準取付断面図 S=1:5



地覆部詳細図 S=1:10



排水口詳細図 S=1:10



- (注) 1. 二次止水材排水口からの流末は、橋面に滞水せぬよう排水ホースを取付(別途工事)し、誘導する事。
2. 排水ホース・固定金具の取付は、足場設備(別途工事)にて行う事。
3. 床版遊間が狭隘な場合は、排水パイプ設置に必要なスペースを確保する事。

設計条件

	A1橋台	P1橋脚	A2橋台
温度範囲	-10℃～+40℃	-10℃～+40℃	-10℃～+40℃
温度変化伸縮量	6.28 mm	6.28 mm	0.00 mm
常時設計伸縮量	31.5 mm	36.0 mm	14.5 mm
地震時移動量	不明	不明	不明

【 留 意 事 項 】

- ※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
※ 車道用製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結パッキンを有する製品とする。
※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

【船津橋】

工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	伸縮装置取替工詳細図
縮尺	図示 図面番号 10 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

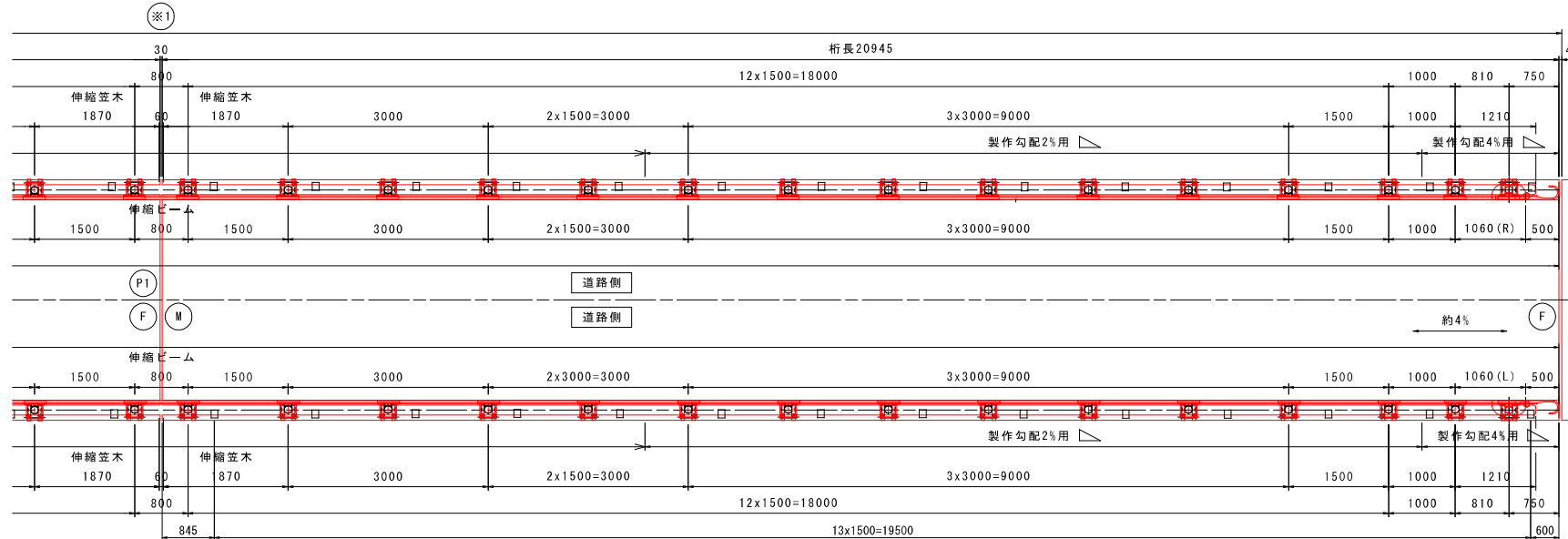
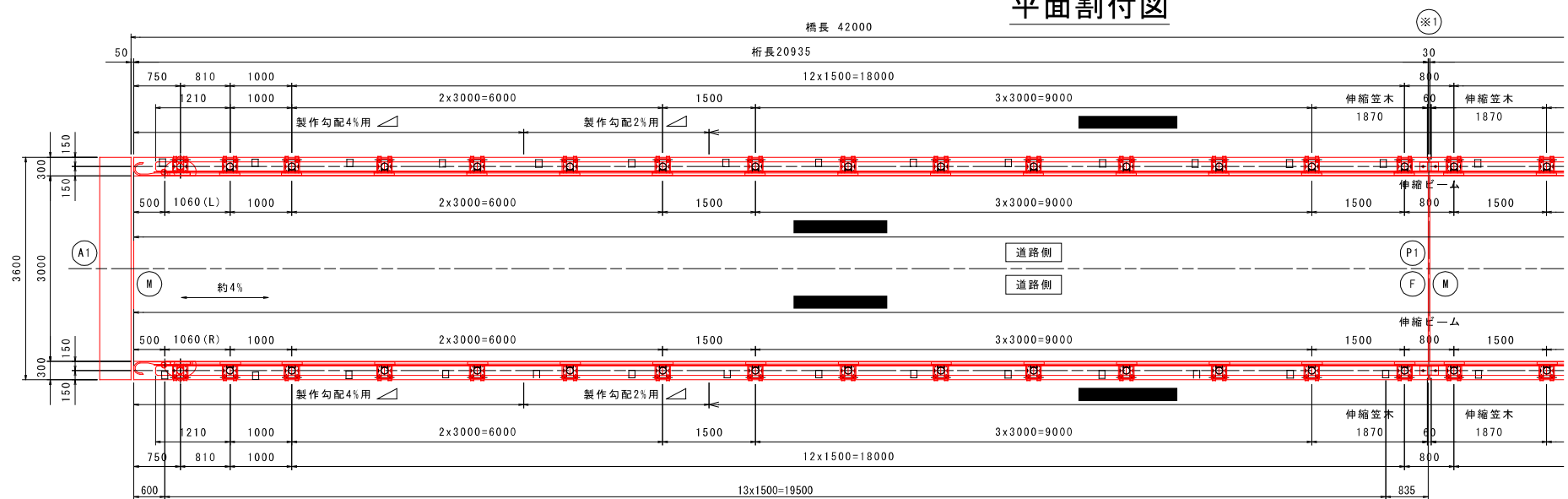
伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	P1	合計	備考
			車道用	車道用	車道用		
伸縮装置	HDJ-SCV20 同等品	m	—	3.000	—	3.000	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV40	〃	〃	3.000	—	3.060	6.060	
地覆止水	HDJ-US C	個	—	—	2	2	伸縮量20/40mm用
HDJ-US C	〃	〃	—	—	2	2	
二次止水 (橋型)	HDJ-OP-R250	m	3.000	3.000	3.060	9.060	0.995kg/m
3-D13×3.00	〃	kg	8.96	8.96	—	17.92	
補強鉄筋	2-D13×3.00	〃	—	—	5.97	5.97	0.995kg/m
計	〃	〃	8.96	8.96	5.97	23.89	
差筋アンカー	D16	本	13	13	—	26	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
金属拡張アンカー	M16	〃	52	52	52	156	
寸切りボルト	M16	〃	52	52	52	156	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
特殊座金A	〃	個	10	10	10	30	
特殊座金B	〃	〃	26	26	26	78	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
支持棒	M6×500	本	8	8	8	24	
無収縮モルタル	σck=24N/mm2以上	m3	0.105	0.102	0.067	0.274	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
断面修復材	地覆止水埋め込み部	〃	—	—	0.006	0.006	
樹脂モルタル	ドローガード 同等品	〃	0.024	0.024	0.015	0.063	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV20 同等品	定尺(L=900)	本	—	2	—	2	
HDJ-SCV40 同等品	端部	〃	—	2	—	2	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV40 同等品	定尺(L=900)	〃	2	—	2	4	
HDJ-SCV40 同等品	端部	〃	2	—	2	4	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV40 同等品	端部	〃	2	—	2	4	

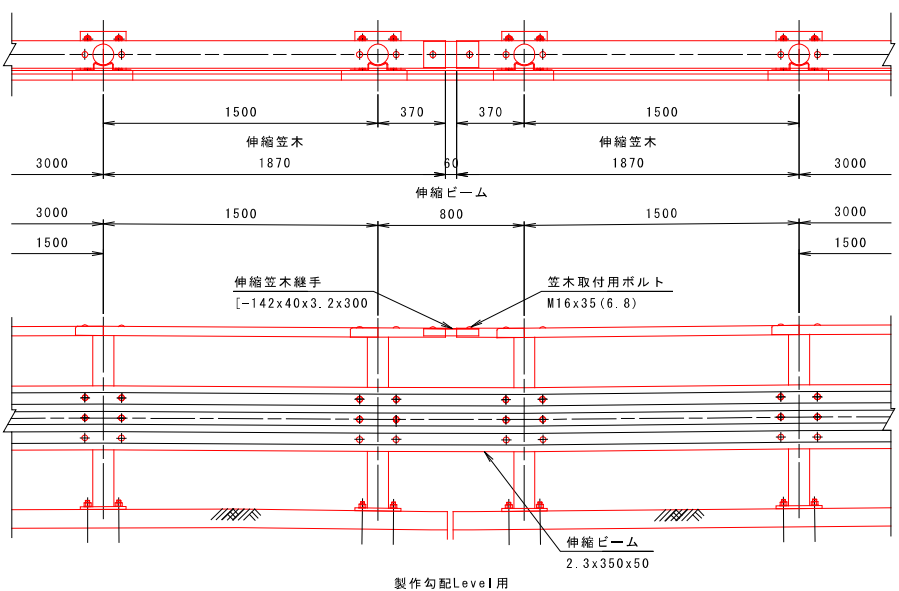
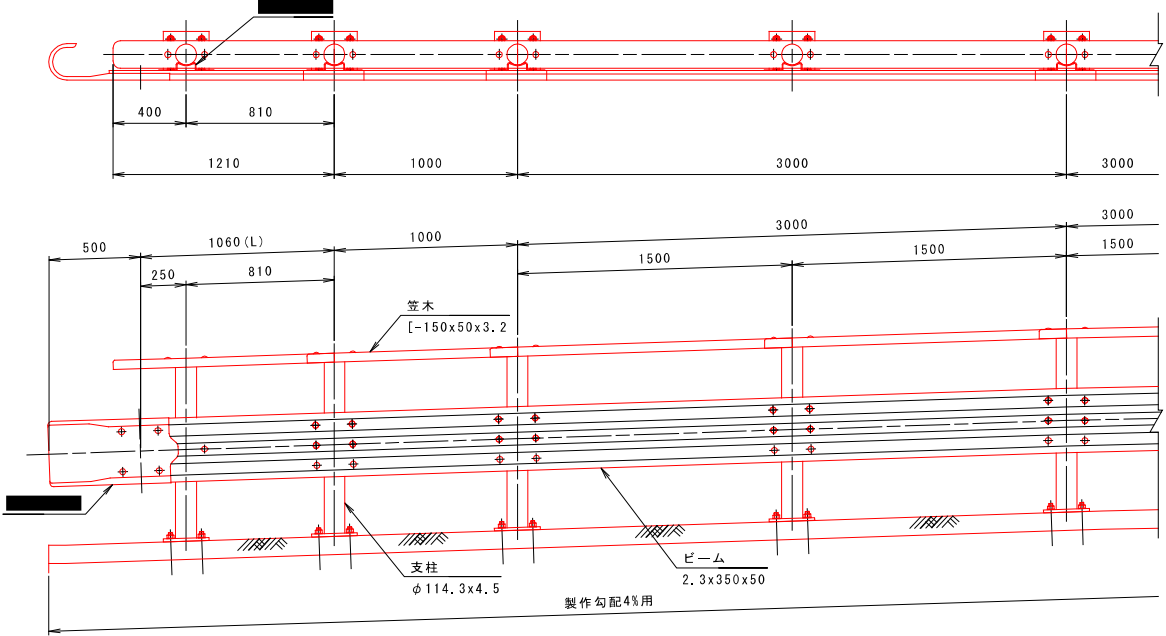
型式	規格	単位	A1	A2	P1	合計	備考
			車道用	車道用	車道用		
HDJ-SCV20 同等品	定尺(L=900)	本	—	2	—	2	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV40 同等品	端部	〃	—	2	—	2	
HDJ-SCV40 同等品	定尺(L=900)	〃	2	—	2	4	鉄鉄製・荷重支持型 NETIS登録番号：QS-210051-A 同等品
HDJ-SCV40 同等品	端部	〃	2	—	2	4	

防護柵取替工詳細図(その1) S=1:50

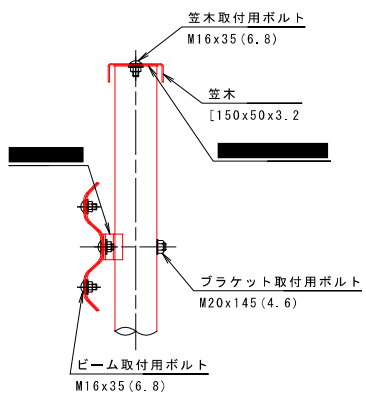
平面割付図



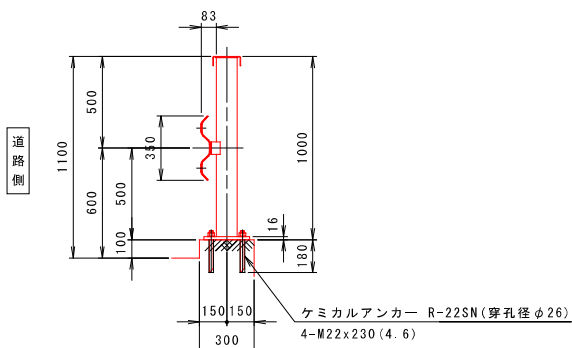
組立図 S=1:20



取付詳細図 S=1:10

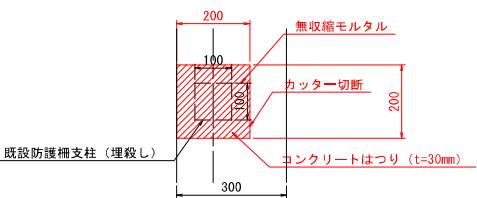


断面図 S=1:20

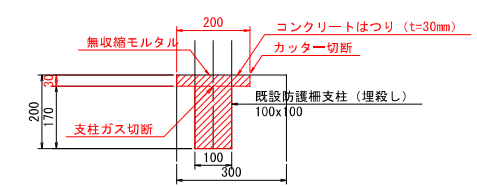


既設防護柵撤去詳細図 S=1:10
N=56箇所

平面図



断面図



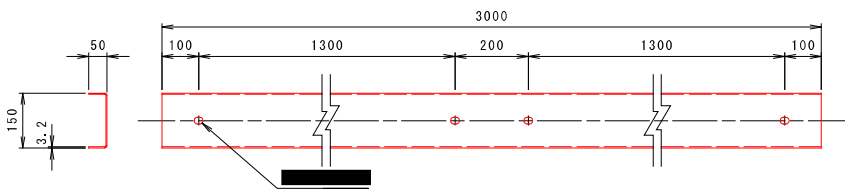
【船津橋】

工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	防護柵取替工詳細図(その1)
縮尺	1:50
図面番号	11 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

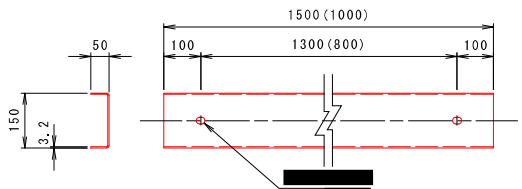
注) ガードレールの種別は「C種」とする。
注) 施工時に現地計測の上、最終寸法を決定すること。
注) ガードレール支柱は、地覆鉄筋位置や既設防護柵支柱を避けた位置に施工すること。

防護柵取替工詳細図(その2) S=1:10

笠木

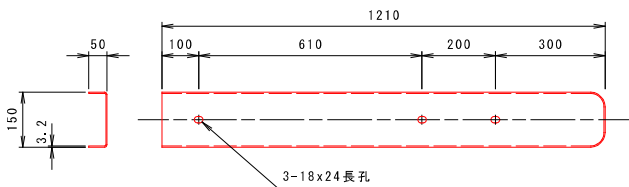


笠木

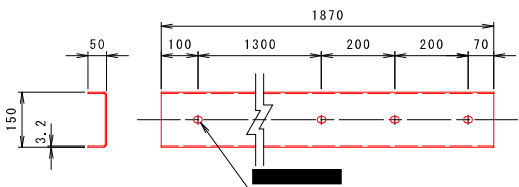


※()内は端部の寸法を示す

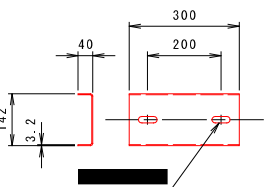
端部一体型笠木



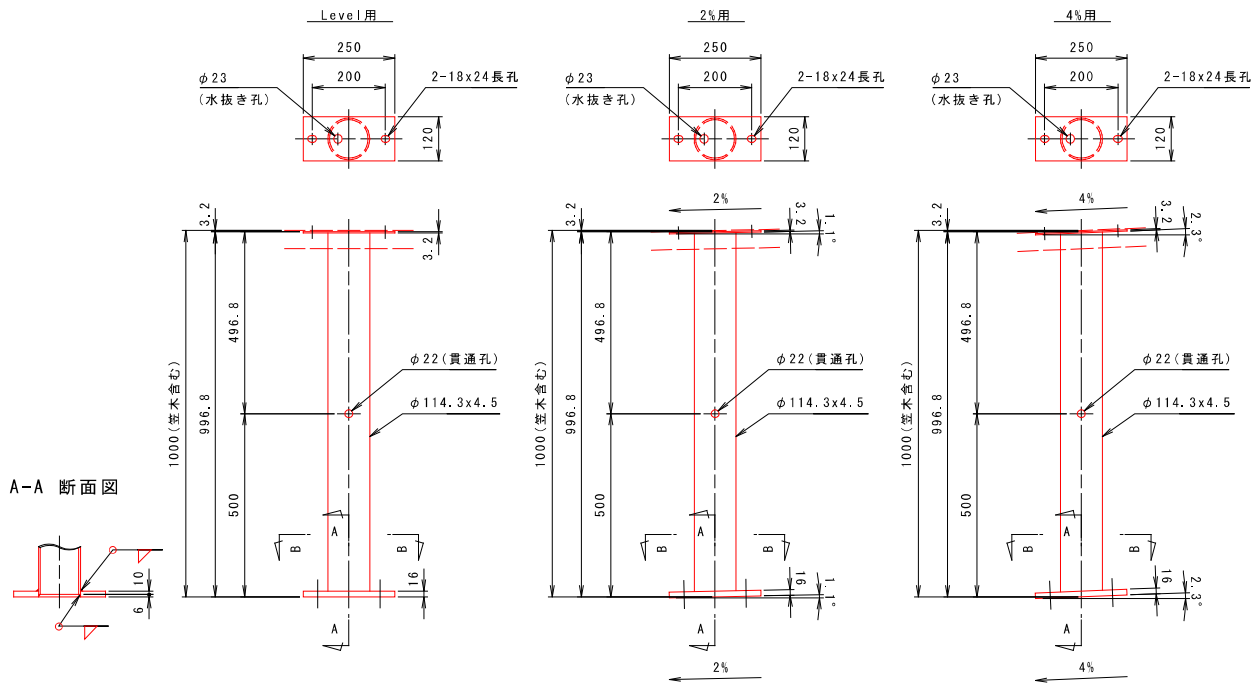
伸縮笠木



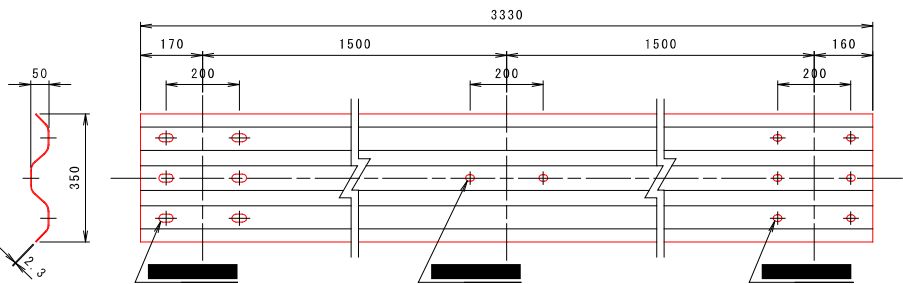
伸縮笠木継手



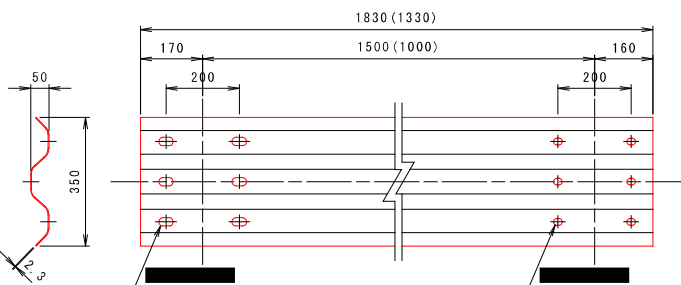
支柱



ビーム

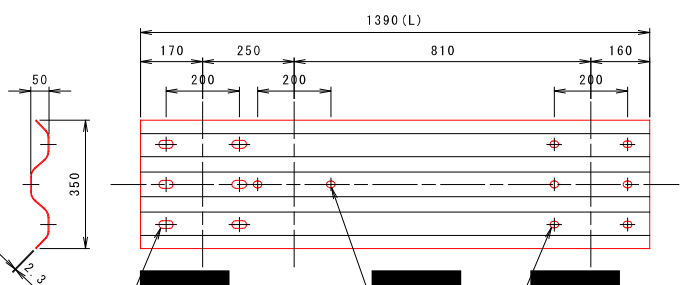


ビーム

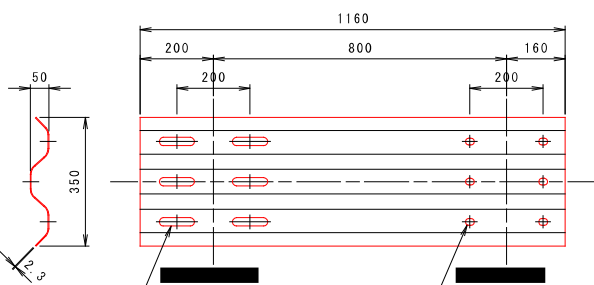


※()内は端部の寸法を示す

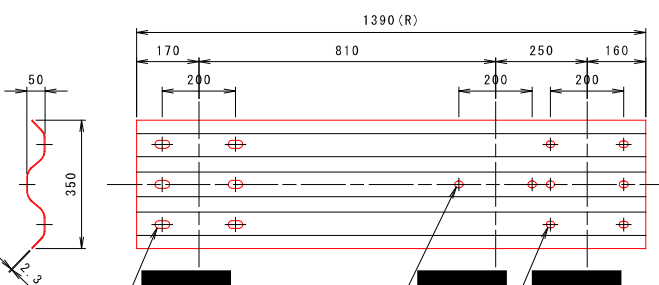
端部特殊ビーム



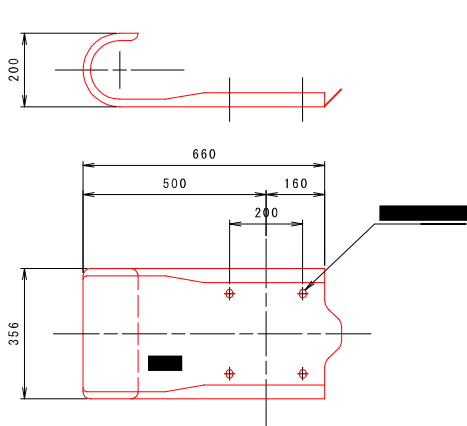
伸縮ビーム



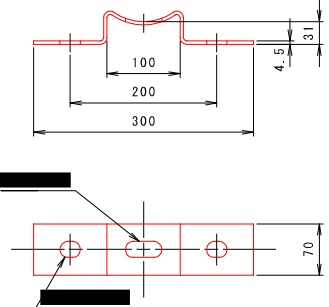
端部特殊ビーム



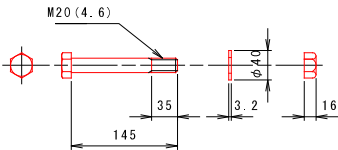
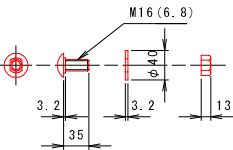
巻袖ビーム



ブラケット S=1:5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:5 ブラケット取付用ボルト S=1:5

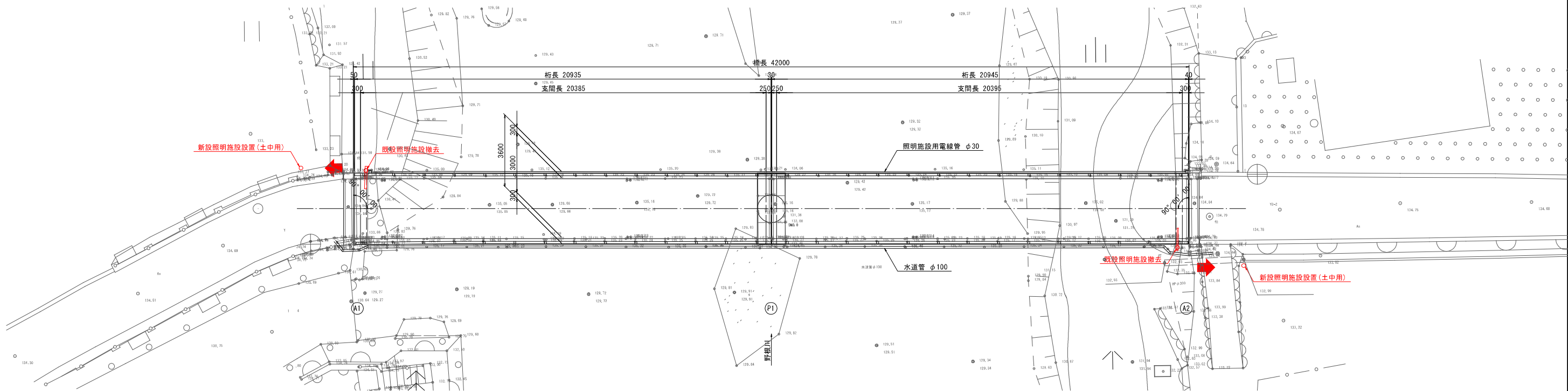


【船津橋】	
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	防護柵取替工詳細図(その2)
縮尺	1:10 図面番号 12 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

照明施設移設計画図 S=1:100

船津橋

平面図



橋台正面図 S=1:40

照明施設ブラケット詳細図 S=1:10

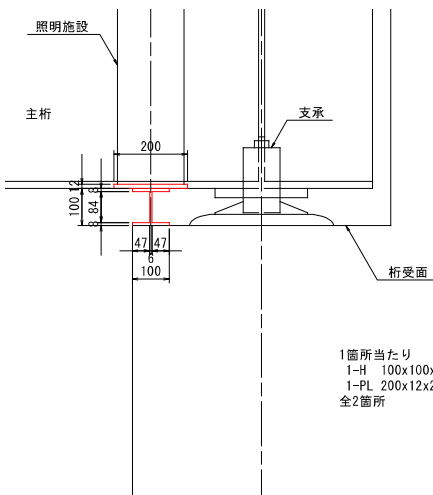
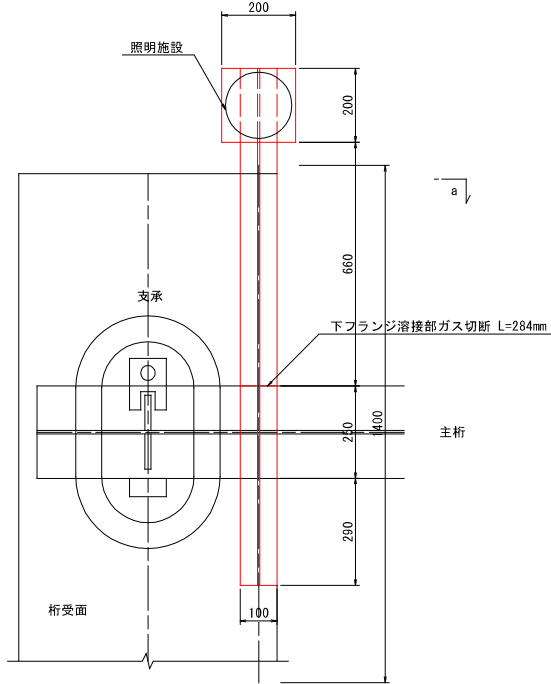
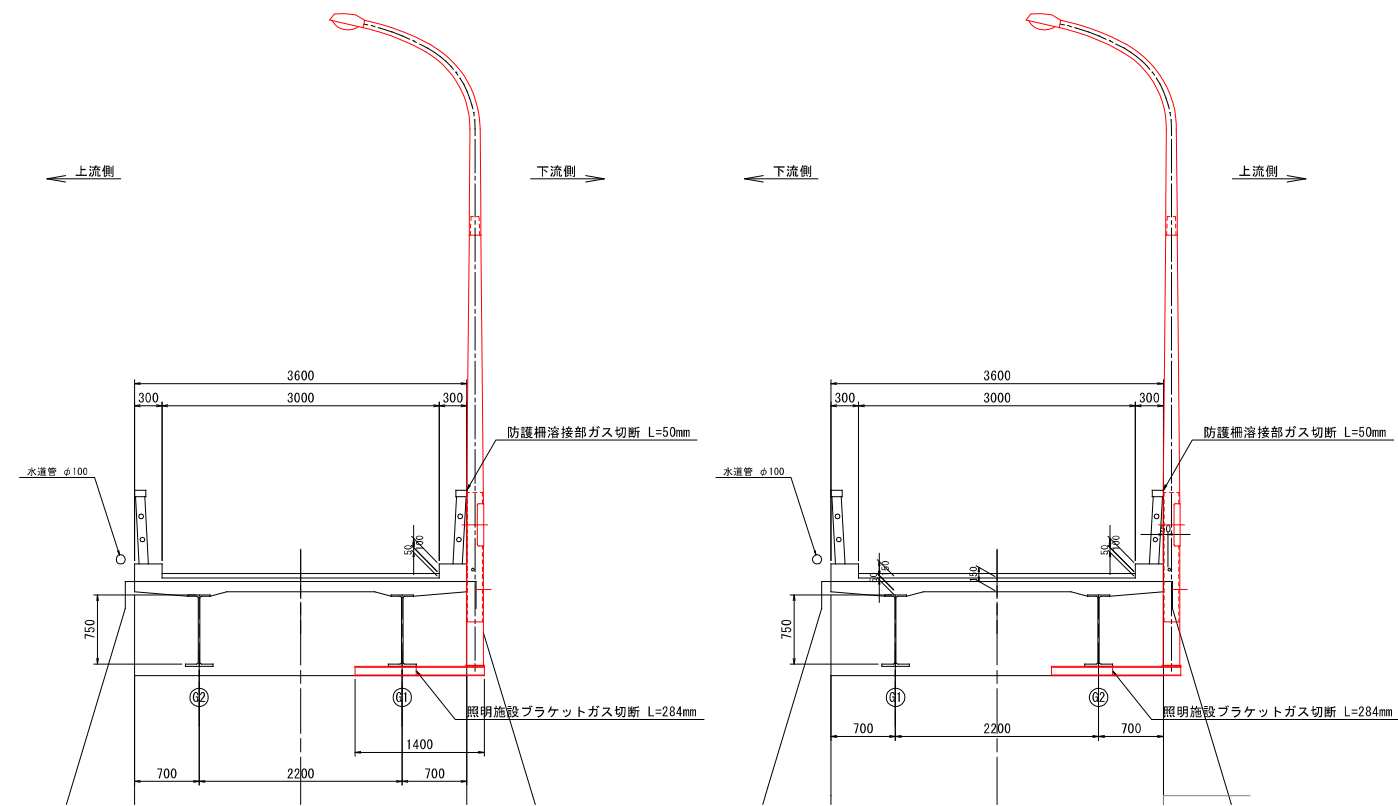
A1橋台

A2橋台

平面図

断面図

a-a



1箇所当たり
1-H 100x100x6x8x1400
1-PL 200x12x200
全2箇所

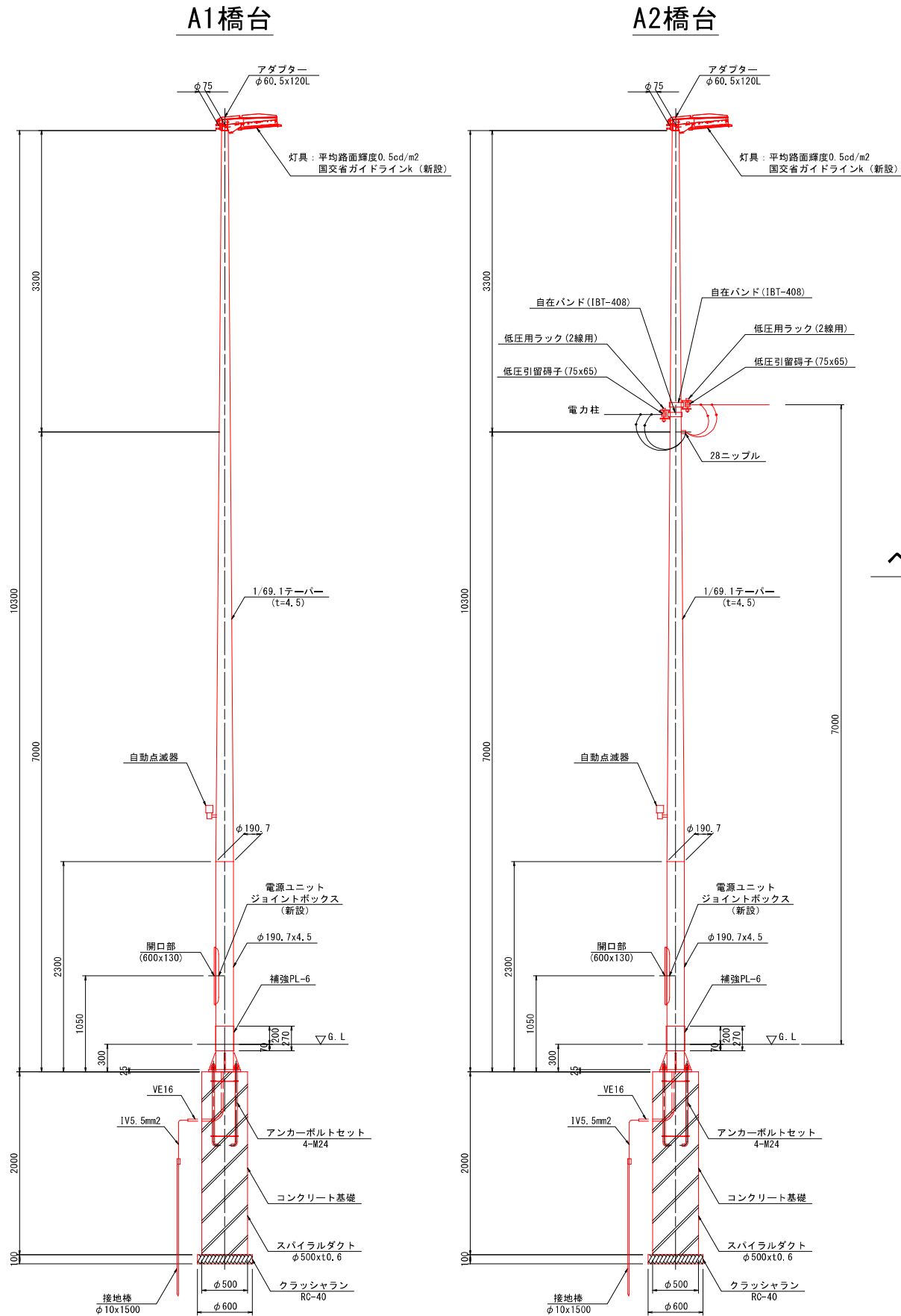
注) 工事実施前には用地を確認し、土中用が配置可能か確認を行うこと。
注) 配置不可の場合は、既設擁壁などへの配置検討を行い、必要に応じて
安定計算を実施すること。
注) 別途、防護柵撤去 → 取替を予定しているため、事前に照明柱を撤去
すること。

【船津橋】

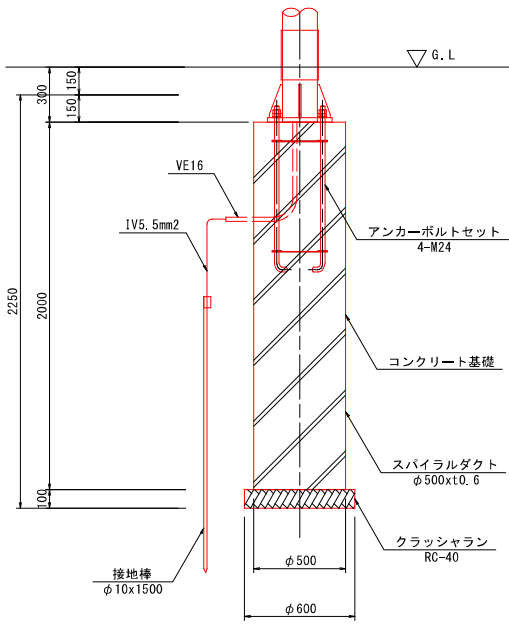
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	照明施設移設計画図		
縮尺	1:100	図面番号	13 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		

照明装柱図(参考図) S=1:30
船津橋

姿図

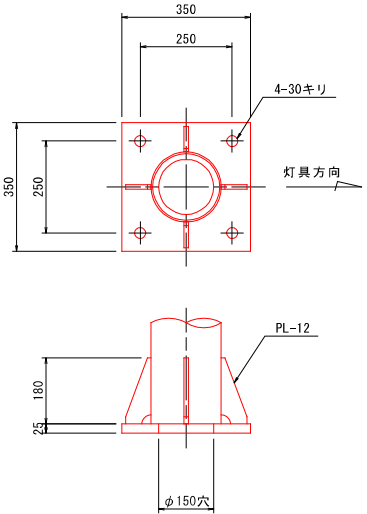


基礎図 S=1:20

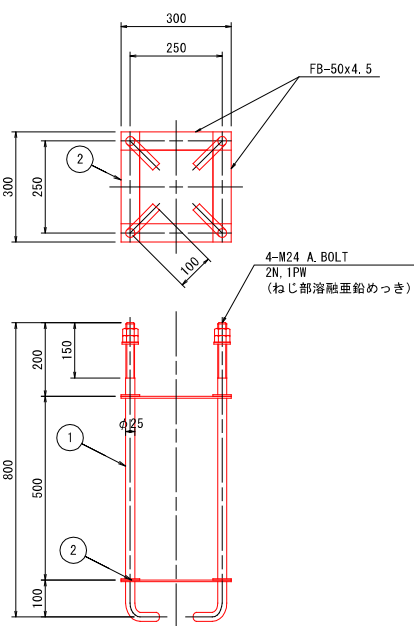


基礎数量表				(1基当り)
名称	規格	単位	内訳	小計
掘削	アースオーガ	本	L=2250	1
コンクリート	18-8-40	m ³	0.250x0.250xπx2.000	0.393
残土処理		m ³	0.25x0.25xπx2.1÷0.9	0.458
スパイラルダクト	φ500x10.6	m		2.000
砕石	RC-40	m ²	0.300x0.300xπ	0.283
埋戻し		m ³	0.25x0.25xπx0.15	0.029
配管・配線数量				
名称	規格	単位	内訳	小計
IV 5.5mm2		m		2.300
VE16		m		0.900
D種接地	φ10-1500L	極		1.000

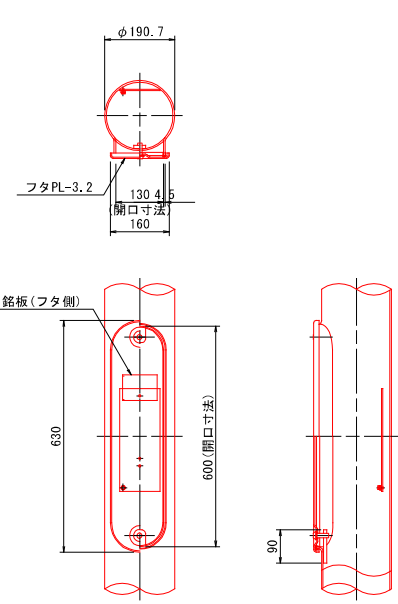
ベースプレート詳細図 S=1:10



アンカーフレーム詳細図 S=1:10



開口部詳細図 S=1:10



アンカーボルト重量表(1組当り)				
部材	長さ(m)	単位重量 (Kg/m)	数量	重量 (Kg)
① SS400丸鋼φ25-900	0.900	3.85	4	13.86
② SS400平鋼50x14.5-300	0.300	1.77	8	4.25
			重量	18.11 kg

注 記

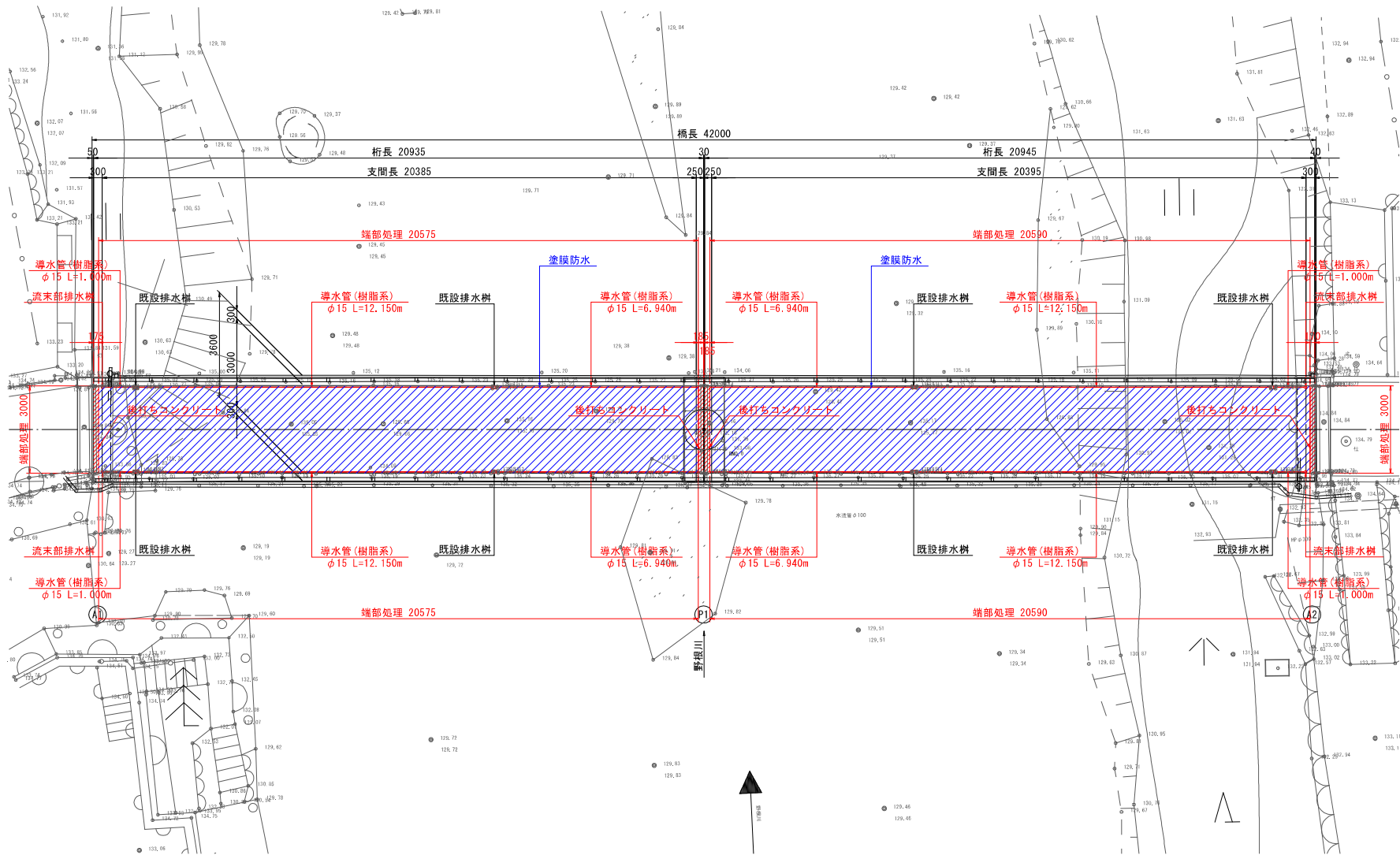
1. ネジ部及びナットは溶融亜鉛メッキ(HDZT49以上)を
施すこと。

注) 灯具については現況の照度を確保できる製品を選定すること。

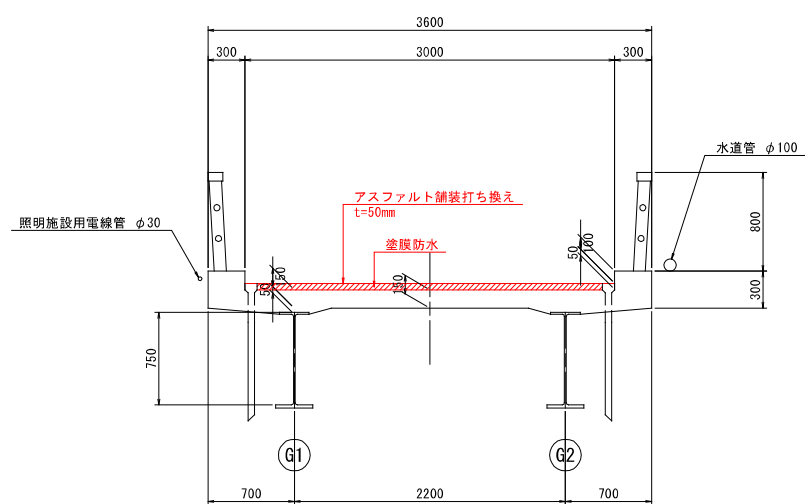
【船津橋】	
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	町道船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	照明装柱図(参考図)
縮尺	1:30
図面番号	14 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

橋面補修工詳細図 S=1:40
船津橋

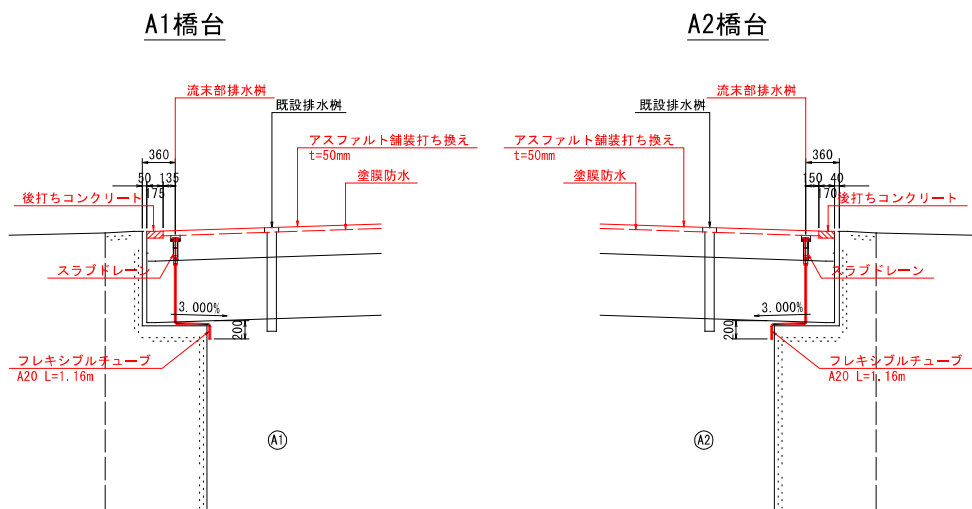
平面図



上部工断面図 S=1:30



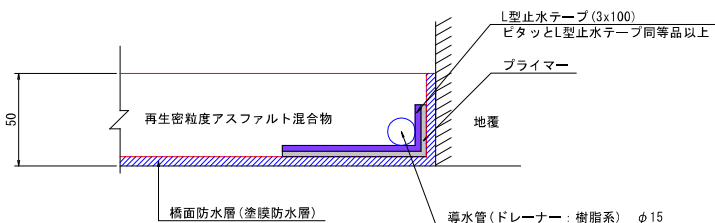
流末部詳細図 S=1:40



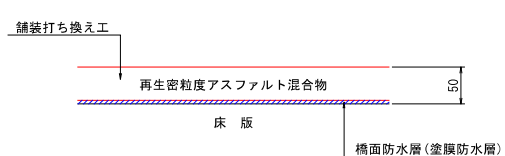
端部処理詳細図 S=1:2

床版削孔詳細 S=1:5

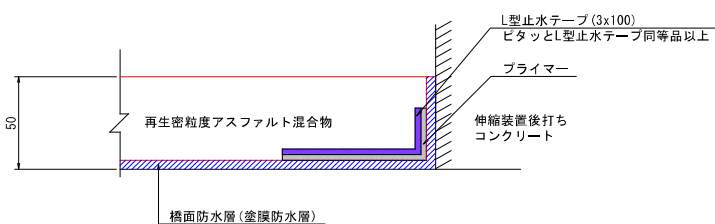
地覆部



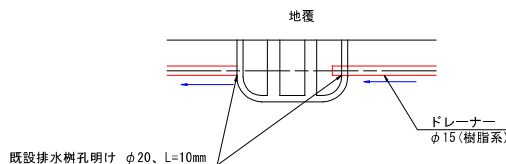
車道部・路肩部



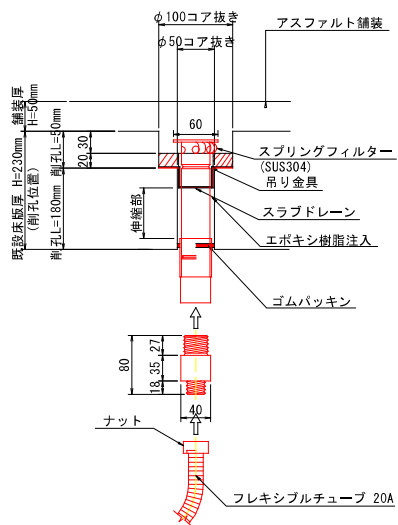
伸縮装置部



排水樹部 S=1:6



床版削孔詳細 S=1:5



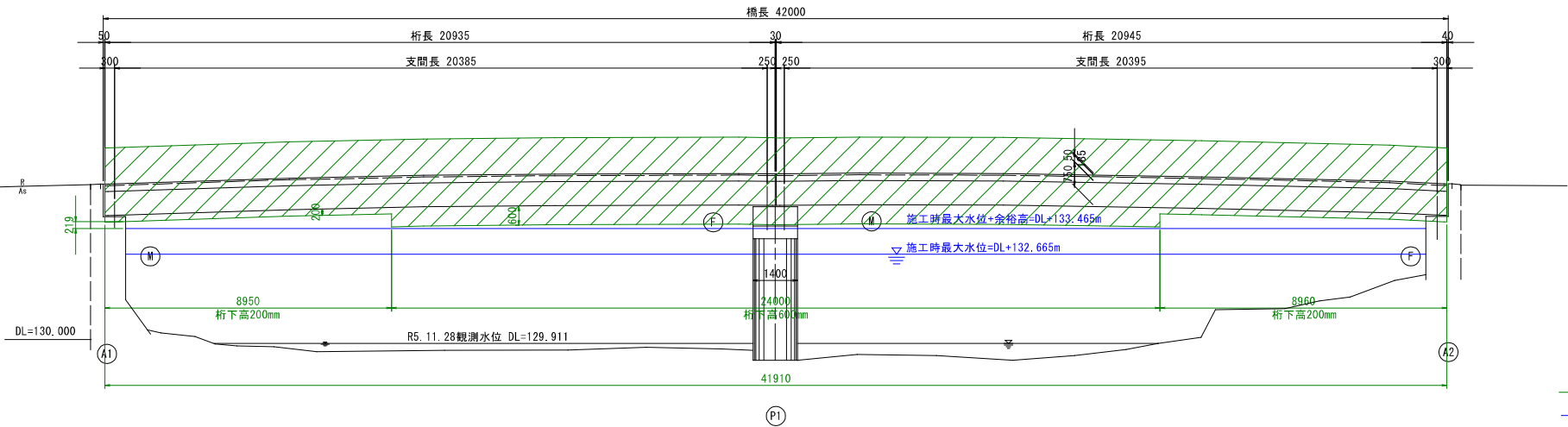
使用材料	規格	単位	数量
スラブドレーン	φ42.7	箇所	4
フレキシブルチューブ	φ20	m	4.64
エポキシ樹脂	1.2t/m3	kg	0.53

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 排水装置設置面所は、現地状況に応じて適宜移動させること。

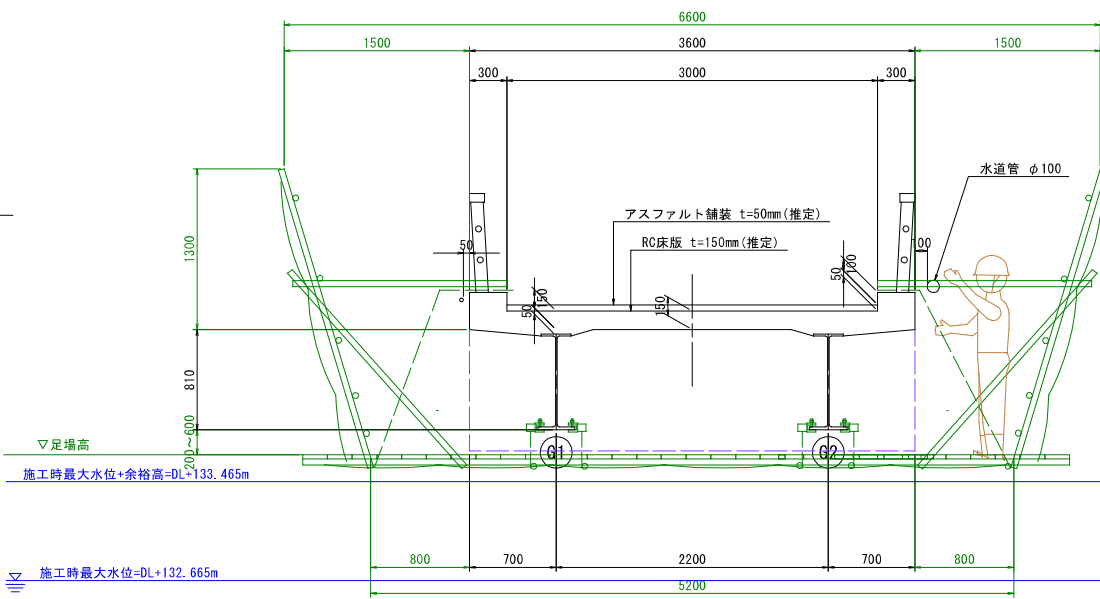
【船津橋】	
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事
路線名等	船津宮前線
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)
図面名	橋面補修工詳細図
縮尺	1:100 図面番号 15 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	海陽町 建設防災課

施工要領図 S=1:100
船津橋

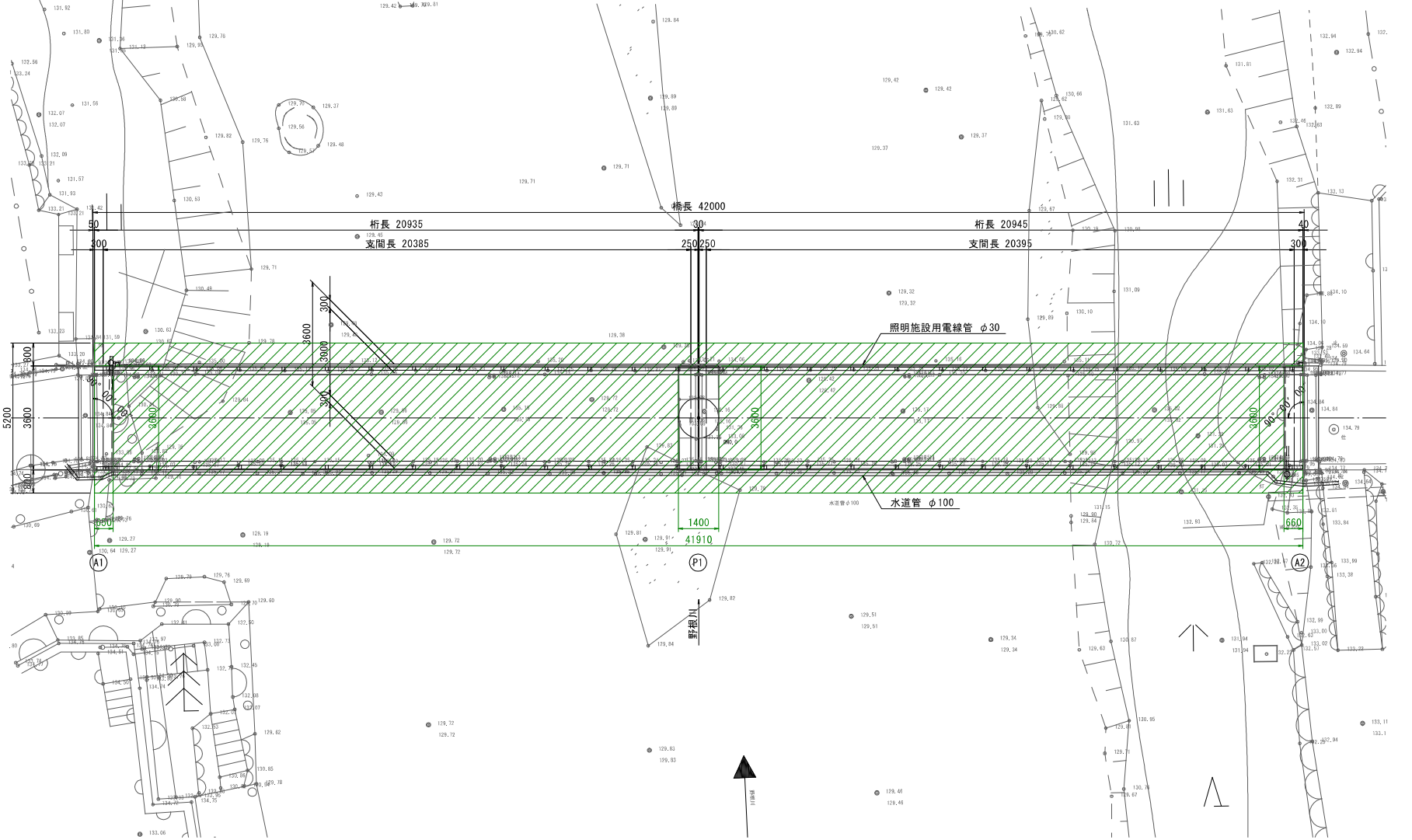
側面図



上部工断面図 S=1:30



平面図



- ※施工は非出水期(11月～5月)に行うこととし、吊り足場は施工時最大水位+余裕高より上面に設置すること。
- ※足場設置高さは、現場の状況、施工性に応じて、適宜決定を行うこと。
- ※吊り足場は、タイプA1+タイプBを設置する。
- ※作業中に交差河川へ殻や作業道具が落下しないよう、朝顔を設置する。
- ※シート張防護については、剥離剤養生シートを使用する。
- ※現況塗膜に鉛が含まれているため、塗膜除去の際は有害物質が飛散しないよう、吊り足場内を密閉して作業すること。
- ※補修方法については、各補修詳細図を参照のこと。

【船津橋】			
工事名	令和7年度 船津橋修繕工事		
路線名等	町道船津宮前線		
工事箇所	海部郡海陽町船津字船津(船津橋)		
図面名	施工要領図		
縮尺	1:100	図面番号	16 / 16
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町 建設防災課		